

# 20周年記念誌

発足20年にあたり  
飯能R.Cの為に  
光をかけた人々に  
この小史を捧ぐ



# 発刊によせて

会長 齋藤文雄

ロータリークラブ（RC）と云う、善意の営みの「灯」が、ここ飯能の地に点されてから、早20年の才月が流れました。

武蔵RC（現在の入間RC）を親として、平岡文夫バスト会長を中心に、産ぶ声をあげた我が飯能RCは、文字通り、成人に達しました。

ロータリーは、80年前、荒んだ世相の中に喘いでいたアメリカの地に燃え上がりました。ロータリーの温い心の炎は、燎原の火の如く世界中を駆けめぐり、そのうねりが、ここ飯能にも完全に根を下ろしたわけです。

その活発な活動は、細胞分裂でもする様に、越生毛呂RCを産み育て、更に1昨年は、日高RCを世に送り出しました。

韓国の東清州RCとの姉妹クラブ、アメリカのプレアRCとの友好クラブ、そして海外からの留学生交換等々、国際化の波も高まっております。

この歩みの中の、大きな節目として、20周年の記録を世に残して置きたい。全会員の、こんな心の結集で、この誌が産まれました。

人の心には、好意と敵意が同居しております。RCが目標とする好意の心で、地域の人、地区の人、日本中の人、アジアの人、そして全世界の人々が交わる事ができれば、平和な世の中になる筈です。全世界に活動する、100万のロータリアンが手をつなぎ、その影響力で人々に訴える時、地球の上から争いが無くなるだろう。こんな夢を考えながら、飯能RCの一里塚の書を世にささげます。

本誌を発刊するにあたり、飯能RCをここまで育ててくれた、内外の全ての人達に心より感謝申し上げます。

終りに、年余にわたり編集に御尽力下されました、森和夫編集委員長他各委員の方々の御労苦に、厚く御礼申し上げます。

## クラブ設立の経過

飯能にロータリークラブを設立しようという機運になりましたのは、己に、武蔵クラブが（現在の入間クラブ）入間・飯能・狭山の三市の共同のクラブとして存在しておいて、飯能からも、私始め数人の方が、チャーターメンバーとして、参加しておりました。そこで、拡大方針に従って、飯能へロータリークラブを作ることになり、武蔵クラブが、スポンサークラブと決まりました。

当時、商工会議所の会頭をしておりまして、副会頭の双木卯之助様、斉藤承吉様にも相談をしまして、丁度、商工会館も完成したことでもあるしその祝いも記念して、飯能ロータリークラブ結成に踏み切った次第です。

ですから、メンバーの勧誘も、商工会議所のメンバーを中心として、公平に行う為に、葉書で勧誘致しました。殊に、私はロータリーを飯能に結成することによって、とかく、派閥をつくりがちな地方都市としての飯能を、明るい、平和な都市に成長させたいと思っておりましたから。

特別代表には、清水逸平氏（武蔵クラブ）で、当時のガバナーが、神守氏、分区代理が、広沢バスタガバナー、武蔵クラブの拡大委員として、飯能クラブの結成に、なにかと御世話戴いたのが、繁田バスタガバナーでした。今思えば結成の指導をして戴いたロータリアンは、誠に豪華な方々でした。これも、幸せの一つだったと思います。

地域の問題ですが、飯能市に限らず、名栗村、日高町を区域に致しましたのは、己に政治的に、当時、合併をしたらという話がちらほらあったのです。夫々の事情で、現在迄、三市町村は、独立の自治体となって居りますが、私は、当然三市町村は、夫々関係も深く、市町村民の交際も濃いのですから、ロータリーだけでも一つの地域となっていた方が良いと思い、わざわざ川越ロータリーから、日高町の区域を分けて戴き、その手続きの為、国際ロータリーに連絡をとったりして、可成り手続きが大変だったのですが、今思えば、三市町村を飯能ロータリーの区域にしておいて、夫々の町村から、立派なロータリアンが、参加して戴いて、誠によかったと思って居ります。

創立総会は、飯能商工会議所で行ないましたが、何年かは、例会場も商工会議所で開かれて居りました。

クラブ設立にあたって、思い出しました記憶をつらねて、せめて、今後のロータリー発展の参考になれば誠に幸いです。

（記 平岡文夫）



## 飯能ロータリークラブ

創 立 昭和39年7月22日

承 認 昭和39年11月2日

認証状伝達式 昭和40年4月7日

創 立 会 員 36名

区 域 飯能市、名栗村

事 務 所 飯能商工会議所内

例 会 場 埼玉銀行飯能支店

例 会 日 水曜日 12時30分

姉 妹 ク ラ ブ 韓国東清州 R C

子 ク ラ ブ 越生毛呂 R C

日高 R C

## 4つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

# 目 次

---

- はじめに…………… 3
  - 創立20周年記念式典…………… 7
  - 座談会……………21
  - 17年以降 5年間の記録……………37
  - 物故会員の冥福を祈って……………57
  - 会員家族紹介……………59
  
  - 編集後記……………134
-



# 20 周 年 記 念 式 典





60.4.10 記念式典会場



# ＝ プ ロ グ ラ ム ＝

## 記念式典

開 会 の 辞  
 点 鐘  
 斉唱「君が代」  
 「奉仕の理想」

来 賓 紹 介  
 歓 迎 の 挨拶  
 式 辞  
 物故会員に黙禱  
 記念事業発表  
 記念事業目録贈呈  
 記念品贈呈  
 韓国東清州RCより記念品贈呈  
 来 賓 祝 辞

祝 電 披 露  
 斉唱「我等が生業」

閉 会 の 辞

司 会 幹 事 大野 康夫  
 副 司 会 副 幹 事 細田 吉春  
 式 典 副 委 員 長 吉田 高雄  
 会 長 齊藤 文雄  
 ソングリーダ― 飯島 武司  
 ピアノ伴奏 三木由美子  
 式 典 副 委 員 長 細田徳二郎  
 会 長 齊藤 文雄  
 式 典 委 員 長 平岡 文夫  
 式 典 副 委 員 長 井上 太平  
 式 典 副 委 員 長 吉島 力良  
 式 典 副 委 員 長 新井 清平  
 会 長 齊藤 文雄  
 清 州 R C 会 長 金権中 殿

第257地区ガバナー 福島 良治殿  
 創立時分区代理バスターガバナー 広沢 輝雄殿  
 韓国東清州RC会長 金権中 殿  
 飯能市長 市川 宗貞殿  
 参議院議員 石井 道子殿

ソングリーダ― 飯島 武司  
 ピアノ伴奏 三木由美子  
 20周年実行委員長 荒井 栄



市に寄贈した国旗掲揚塔の前で市川市長とともに

記念講演

「今後の内外の経済情勢について」

前経団連副会長、日米財団法人会議議長 岩佐 凱実先生

記念演奏会

バンド演奏

司会 柴田千頭男

埼玉県吹奏楽コンクール金賞 聖望学園コンサートバンド

記念パーティ

司会 SAA 加藤 栄

開 会 の 辞

清水 栄次

換 拶

バスターガバナー 繁田 正一殿

乾 杯

〃 中善寺 登喜次殿

手 〃

〃 広沢 輝雄殿

手 〃

〃 山口 大殿

万 才

〃 相原 茂吉殿

斉唱「手に手をつないで」

閉 会 の 辞

井上 太平

記念事業

飯能市へ国旗掲揚塔 1基 寄贈

名栗村へ金一封、飯能警察署へ金一封

ロータリー財団へ特別寄附、米山奨学会へ特別寄附

記念品贈呈

クラブ創立時分区代理 広沢 輝雄殿

創立会員顕彰 平岡文夫君 新井清平君 吉島力良君 井上太平君

細田徳二郎君 吉田富雄君 荒井栄君

創立以来20年間無欠席会員表彰

平岡文夫君 吉島力良君 吉田富雄君

15年以上無欠席会員表彰

新井清平君 荒井栄君 細田徳二郎君 町田義晴君

溝口卓男君 曾根丈治良君 竹田久治君

10年以上無欠席会員表彰

平沼保夫君 林幸一君 井上太平君 大久保一郎君

大野勝男君 清水栄次君 関谷昭君

クラブ協力者 埼玉銀行飯能支店殿

飯能商工会議所殿

職 員 表 彰 佐藤喜久江殿 山岸多賀子殿

来賓御芳名

第257地区ガバナー	福島良治殿 令夫人	幹事	三角昭次殿 小林忠雄会員他6名
バストガバナー	広沢輝雄殿	入間RC会長	橋本弥彦殿
〃	繁田正一殿	幹事	吉原栄一殿
〃	山口 大殿	所沢RC会長	田中早苗殿
〃	相原茂吉殿	幹事	三上芳太郎君
〃	中善寺登喜次殿	狭山RC会長	渋谷武治君
バガナーノミニ	田中徳兵衛殿	幹事	依木元之輔君
地区幹事	橋田弥寿男殿	新所沢RC会長	川崎 進君
第8分区代理	牧野逸朗殿	幹事	小口 隆君
地区委員	市川満哉殿	越生毛呂RC会長	新井 弘君
〃	弓削俊昭殿	幹事	依木貞夫君
〃	小山芳三殿	飯能RCバスト会長	武居藤吉君
〃	仙崎昭信殿	〃	梨木三六君
〃	丸田 操殿	飯能市長	市川宗貞殿
〃	田中一郎殿	参議院議員	石井道子殿
〃	木下 修殿	県会議員	大川修司殿
韓国東清州RC会長	金権中殿他4名	名栗村長	浅見寅雄殿
青梅RC会長	桜岡歌四郎殿	飯能警察署長	高橋清之殿
幹事	佐藤嘉彦殿	飯能市消防長	橋本国男殿
浦和RC会長	宮崎守一殿	飯能ライオンズクラブ会長	古谷浩二殿
幹事	佐野彰信殿	飯能青年会議所理事長	柿沼敏夫殿
川越RC会長	浅井正義殿	祝 電	
川越東RC会長代理	三上泰弘殿		
小川RC会長	関根貞次殿	バストガバナー	赤塚正一殿
日高RCバスト会長	大河原栄一殿	〃	清水達也殿
日高RC会長	清水勇三殿	ブレアロータリークラブ殿	



福島良治ガバナー



平岡文夫式典委員長



広沢輝雄バストガバナー



斉藤文雄会長



繁田正一バストガバナー



式典会場



会長の奥様方



会場風景



韓国東清州FCの皆様



記念講演

## 歓迎の辞

会長 斉藤文雄

飯能ロータリークラブ創立20周年記念式典を挙げるにあたり歓迎の御挨拶を申し上げます。

本日は皆様には公私ともに御多用のところかくも多数御来席頂きまことに有難う御座います。厚く御礼申し上げます。

飯能市長をはじめ自治体の皆様、福島ガバナーをはじめ、地区役員のロータリアンの皆様、海外から御来席された皆様、そして区内クラブからの沢山の友人の皆様、更に例会変更までに参加して下さった子クラブである越生毛呂ロータリークラブ、日高ロータリークラブの皆様、ようこそお出で下さいました。ただただ感激の極みでございます。

クラブ内のことでございますが、御功績のあった元会員の方々、物故会員の御家族の皆様、そして当クラブ全会員の御夫人の皆様も参列されております。この盛り上がりの中でそれを祝福するかのように会場の周辺には満開の桜が皆様をお迎えしております。この運命の出逢いを思うときジーンと胸が一杯になります。

思えば当クラブは昭和39年7月創立以来満20年を経過し、まさに成人に達したわけであり、生む苦しみと育てる楽しみ、そしてそれを切磋琢磨して完成させた今日のこの喜びは歴代の会長、幹事そして会員の心の中にみなぎっていることと思います。

私が言うまでもなく四つのテストに照らして奉仕するロータリー精神は世界人類の平和にその目的があります。今年のR1会長、並びにガバナーの方針にそって物の奉仕より心の奉仕へと当クラブは努力しているところでございます。このロータリー精神を学ぶために各業界に影響力を最も持つ人々を集めてこの精神の普及をはかることこそロータリーと考えております。本日もささやかな物の奉仕もありますが、ロータリー本来の姿はロータリー精神にのっとったロータリアンの影響力そのものと考えております。

本日の飯能ロータリークラブの成人式にあたり精鋭我ら飯能ロータリークラブの会員は一丸となって奉仕の道に進むことをお誓いして挨拶にかえさせていただきます。

## 式辞

式典委員長(初代会長) 平岡文夫

桜花華やかに綻ぶ爛漫の春、新築のこの市民会館に於て飯能ロータリークラブ創立20周年記念式典を挙げるにあたり、市川市長、石井参議院議員、福島ガバナーをはじめ御来賓各位並びに姉妹クラブである韓国東清州ロータリークラブの皆様、更に近隣クラブのロータリアンの皆様には、公私ともに御多忙のところかくも多数御参列賜わり衷心より感謝申し上げます。また当クラブの会員の皆様、ことに御夫人の皆様にはお出にくいところを御出席頂き花を添えて頂いたこと、まことに有難うございました。

かえりみますと飯能ロータリークラブは昭和39年7月23日現在の入間ロータリークラブを親クラブとして飯能市、日高町、名栗村をその基盤にメンバー36名をもって飯能商工会

館落成を祝いそこを会場に呱呱の声をあげたわけでございます。当時は東京と埼玉は同一地区でありまして時のガバナーは東京の神守源一郎さんでした。特別代表は狭山の清水逸平さん、分区代理は川越の広沢輝雄さん、拡大委員は入間の繁田正一さんでした。その他本日お見えの沢山のロータリアンの先輩各位の御世話になりましたが、その後広沢さんも繁田さんもガバナーになられましたから、飯能ロータリークラブはまことにめぐまれた発足と言わざるを得ません。

光陰矢の如しと申しますが一方10年ひと昔とも申します。発足以来物故された会員は20数名にもなりました。その御一人御一人の思い出が私の脳裡にははっきりと映ります。20年を顧みるにあたり衷心よりご冥福を祈り皆様と共に追悼の意を表したく存じます。

思えば発足当時分村事件とか、日本セメント事件とかとかく話題の多かった当地方に国際的視野にたった親睦の輪を作ろうとスタートした飯能ロータリークラブでした。爾来、今日まで代々の会長、幹事、会員の献身的な努力と御家族の理解ある御協力により着々と力強い基盤を築き会員67名の理想的なクラブとして発展し地域の融和に貢献をしております。またその間、越生毛呂ロータリークラブ、日高ロータリークラブの誕生にスポンサークラブとして拡大の職責を果たすと共に韓国の東清州ロータリークラブと姉妹クラブの提携をしお互の交流を深め国際奉仕の実をあげ、また地域社会には数々の意義ある記念行事を行いその初期の目的を果してまいりました。

飯能市も近年にわかに東京の近郊都市として都市化の波がおしよせ10万都市の実現も間近になってまいりました。このことは飯能の歴史、由緒にゆかりのない新しい住民の増加を意味します。この方々たちとも仲よく融和して、平和で明るい緑と清流の飯能の建設にはロータリークラブの格段の活躍が期待されることと存じます。そこでこの20周年記念を一つの節目として、地域社会にあるロータリークラブとして飯能ロータリアンの自覚を新たにし、老、荘、青、新苗会員相互の親睦を更に深め、クラブ活動の充実をはかり、飯能地方の発展に努力し、皆様の御期待に応えたいと存じます。

どうぞ今日、御来場の来賓各位、各地ロータリアンの皆様には格別の御指導御鞭撻を賜われますよう御願ひ致します。

また、この行事を行うにあたり御尽力頂いた荒井栄実行委員長、齊藤文雄現会長及び役員の方々に厚く御礼申し上げます。

最後に御来会の御来賓、ロータリアンの皆様並びに御夫人のますますの御健勝を祈念して式辞といたします。

## 来 賓 祝 辞 第257地区ガバナー 福 島 良 治 殿

飯能ロータリークラブの皆様そして奥様方、本日はたいへんおめでとうございます。

飯能ロータリークラブは日本で642番目のクラブとして誕生し、爾来地域社会のために、また国際間の親善のために寄与して奉仕の実をあげて来たわけであります。20年の歴史がすぎたわけでありますが、これは云いかえれば20年の歴史の重みを背追った新しい出発と言えると思います。今後ともロータリーのために奉仕の実現に力を尽して頂きたいと存じ

ます。

本年度のカルロス・カンセコR1会長は「見つけよう、奉仕の新生面」と訴えておられます。日常の皆様の行動の中に新しい奉仕の道があるということだと思います。そして奉仕の心をもって日常生活をすることが大切だと思います。

ロシアの文豪ツルゲネーフが或日散歩していたとき「旦那様」と物乞いから声をかけられました。物乞いは両手を差し延べておりました。多くの人を見て見ぬふりをして通りすぎてしまいますが彼にはそれが出来ませんでした。しかし散歩の途中のこととてツルゲネーフのポケットの中には何も入っておりません。彼は「ごめんなさい、今、何も持っていないのです」と言ってお乞いの手をしっかりと握りました。物乞いは彼の手を握り返すと「旦那様、その御言葉だけで充分です」と言いました。

このことは物理的にはツルゲネーフは物乞いに何も渡してないわけですが、しかしここに通い合った心はすばらしいものではないかと思うわけです。

こういう暖かい心をもって飯能ロータリーの皆様がお互いに手を握りあいその手の暖もりを地域社会、ひいては世界に向けて頂きたいと思います。

今後20年の歴史を生かして頂いて明日からの御発展と御健勝を御祈りいたします。

## クラブ創立時分区代理 広 沢 輝 雄 殿

飯能ロータリークラブ創立20周年おめでとうございます。また只今は創立時分区代理であったということで結構な記念品を頂戴しまことに有難うございました。

20年と1口に申しますが、毎日をつみ重ねての20年となると大変なことでございます。当クラブはとなりの入間クラブを親クラブとして誕生したわけですが、一つのクラブを誕生させるには、いろいろな骨折りがあります。そして誕生した子クラブにもそれなりの苦勞がございます。

よく習うより馴れると申しますが、そこには勉強も必要ですし努力も要ると思います。これを立派になしとけて現在の飯能ロータリークラブがあるのだと信じております。

もしロータリーというものがなかったらどうでしょう。私事で申しまして恐縮ですが一介の開業医として私は健康保険の請求に追われている味気ない毎日を過ごしているにすぎないと思います。

ロータリーがあるために多くの人と御近づきになり、いろいろなことを教えて頂いて楽しく奉仕をすることが出来、まことにもったいないような日々を送ることが出来るのです。

奉仕の理想は私たちの共同目標であります。これを学び達成することによってみんなが明るくなり人生が幸福になり楽しくなります。

毎日食べているお米の御飯は何となくおいしく飽きもしませんが、その御飯も炊き方によって美味しくもなり不味くもなります。ロータリーもその通りでロータリーに馴れてもロータリーの御飯の炊き方によってロータリーの味がちがってくると思います。ロータリー一の御飯を炊き損じないようにしたいと思っております。

今日の記念日にあたり、温故知新の気持をもって皆様がロータリーの新生面を開いて頂



き飯能ロータリークラブが増々立派なクラブになりますよう、又御来会の皆様の御清栄を祈念して挨拶に替えさせていただきます。

#### 韓国東清州ロータリークラブバスト会長 金 権 中殿

親愛なる齊藤文雄会長殿そして会員の皆様創立20周年おめでとうございます。又本日この立派な記念式典にお招き頂きまして心より感謝申し上げます。

20年という歳月の間に今日の金字塔を積み上げた皆様の御努力に対し、海をへだてた東清州ロータリークラブより拍手を送ります。

私たち東清州ロータリークラブは1969年飯能ロータリークラブと姉妹クラブの提携をし、16年の歳月が経ちました。その間週報又、年賀状を頂きまことに有難うございました。言葉の上での障害はいろいろありますがそれを乗り越えて飯能ロータリークラブとの親善をより深めてゆきたいと思っております。

飯能ロータリークラブのますますの御隆昌と会員の皆様の御健康をはるかに祈りしてメッセージに替えさせていただきます。

#### 飯能市長 市 川 宗 貞殿

飯能ロータリークラブ満20年の記念式典が盛大に行われまことにおめでとうございます。飯能にロータリークラブが出来たのは昭和39年でございますが、飯能に最初に出来た国際的な奉仕団体はボーイ・スカウトでありました。次いでロータリークラブが出来更にライオンズクラブそして青年会議所が発足いたしました。飯能には現在四つの国際的奉仕団体があるわけでございます。

その飯能ロータリークラブ創立20周年記念行事の一つとして飯能ロータリークラブより飯能市に国旗掲揚塔をご寄贈頂き厚く御礼申し上げます。

飯能ロータリークラブは会長を中心に会員の御努力により20年の間に立派にすくすくと育って来たわけですが、四つの奉仕団体の先頭に立って御活躍されている皆様がこれを契機にますます奉仕の実をあげられますよう御期待申し上げます。

会員67名の方々そして奥様方に御苦勞様でした、そしておめでとうございますと申し上げ最後に飯能ロータリークラブのますますの御発展と御参会の皆様の御多幸を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

#### 参議院議員 石 井 道 子殿

飯能ロータリークラブ20周年を迎えるにあたりこの席にお招きにあづかり光栄に思っております。

皆様方が長い間宮々として地道な奉仕活動を行いまた皆様方が美しい友情の輪をひろげてまいったことに心より敬意を表するものであります。

国際組織としてのロータリークラブが言葉は通じなくても心をつなげてさまざまな問題にあたれるということはすばらしいことだと思っています。

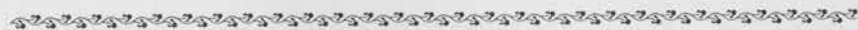
私も皆様方の御支援により昨年9月参議院議員に当選させて頂き半年経ったわけでございます。全国の財政は非常にきびしい時でありまして、60年の予算編成につきましてもいろいろ制度の見直しが行われております。これからの社会保障制度、高齢化社会を迎えるにあたっての諸問題等々いろいろ難しい課題が山積しております。目を外に向ければ諸外国との経済摩擦の諸問題もあり、そういう時期にあたって今後は皆様方の御協力、御判断が必要になってくるのではないかと考えています。財政再建、行政改革、教育改革等につきましても国が民間活力の導入を考えているようでございますが、そういう時期に広い国際的視野をもつロータリークラブの会員の皆様の御協力が今後ますます必要になってくると思います。

これからは国内のことに限らず広い世界に眼を向け世界の繁栄を考えることが必要な時代となると思います。皆様方の御活躍が期待される時であると思います。

今後この20周年を契機として皆様方の御活躍、飯能ロータリークラブ、ひいては日本のロータリークラブの御発展をお祈りしてお祝いの言葉とさせていただきます。



# 特 別 寄 稿



## ロータリーの発展

繁 田 正 一

飯能ロータリークラブ創立20周年おめでとうございます。

20年という歳月は、その間にいろいろの変化をもたらすものだと思います。先づこの20年間の日本経済の大発展は、日本人である吾々はもとより、世界中の人が驚きの目をもって注目するほど、急速な経済発展を現実のものとした20年であります。

わがロータリーも、ついに全世界で100万人の会員を擁するまでに発展した。なかんずく日本におけるこの20年間のロータリーの発展は目をみはるものがあり、アメリカに次ぐ世界第2のロータリー大国になった。

そこでロータリーの地区の移り変わりを、ふりかえてみることにする。

関東甲信越9都県を一地区とした時代を経て、昭和37年には、「東京近県5都県と沖縄」の地区となり、昭和40年には「東京・千葉・埼玉・沖縄」の4都県で地区を編成した。又々昭和42年に「埼玉・千葉」二県で第375地区となった。

そして私がガバナーに就任した昭和48年にはとうとう、埼玉が一県一地区となって今日に至っている。

このように地区の分割が、はげしく繰り返されたのは、ロータリーの拡大につぐ拡大が行われた結果で、ロータリーの大飛躍の20年でもあった。近い将来、又々再分割という話もぼつぼつ出はじめている。

ロータリーがこのように、発展拡大するのは多くの人に何か共感をよび、人の心の琴線にふれるものを持っているからであろう。

これからも吾々は、ロータリーをもっと楽しいものとし、ロータリーの奉仕の理想を追求していかなければならないものと思っている。

飯能ロータリークラブのますますの御発展をお祈りいたします。

## 20周年を祝して

バストガバナー 広 沢 輝 雄

◆ ◆ ◆  
創立20周年おめでとうございます。1口に20年と申しますが毎日を恙なく積み重ねて行くことは大変なことであります。ついうっかりしておりますと瞬間にすぎ去ってうものであります。先年「10周年を祝して」と題して寄稿させていただきましたが、この度20周年記念にお招きにあづかり、記念に又々何か書くようにとのお申しつけをいただき臆面もなく筆をとりました次第です。

皆様、次のようなことをお考えになったことがございますか。

もしもロータリーがなかったらどうだったでしょう。私事で申し上げても唯一介の開業医として健康保険で毎日を明けくれて行く、まことに味気ない自分を考えさせられます。それがロータリーがある為に色々とよいお方とおつき合いが出来、色々のことを教えていただき楽しみながら奉仕の生活をやって行く、まことに勿体ない毎日であります。このことは皆様も御同感と存じます。奉仕の理想とはみんなの共同目標であります。これを達成することによってみんなで明るくもなり人世が幸福になり楽しくもなるものと思います。ロータリアンとして相互扶助、勿論大切な事でありまして、大きな気持、人をゆるす寛容な心を持ち、お互に理解し合い、他人の為になるよう心掛ける、これがつまり奉仕の心でありまして奉仕の心とは思いやりの心と考えてもよろしいと存じます。

最近の世相は煩雜化しております。もう少し単純に戻れないものでしょうか。でない、みんなが離ればなれになって了うでしょう。式典が終って外に出て見ましたらもう天覧山の麓には宵闇がせまり、ボンボリが沢山ともされ、大ぜいの方がお花見に浮かれておりました。みんなで仲よく楽しく遊んでいました。ゆったりした楽しい風景でありました。私も一夕を楽しいゆとりあるものにしたがら飯能クラブの御多幸をお祈りいたしました。



# パスト会長座談会



## 20周年誌座談会

飯能ロータリークラブ20周年記念、パスト会長座談会

日時 昭和60年10月24日(木) PM 5:30

場所 市内 畑屋

出席者 平岡文夫、新井清平、荒井栄、吉島力良、井上太平、細田徳二郎、  
吉田富雄、曾根丈治良、溝口卓男、江原寿、竹田久治、斉藤文雄、

司会者 荒井栄20周年記念事業実行委員長

編集委員長 森和夫

同上委員 清水栄治、細田吉春、加藤栄、田淵甲太郎（敬称略）



荒井 飯能ロータリークラブ創立20周年記念事業も、ここにお集まりのパスト会長をはじめ会員の皆さんのご協力により、大成功のうちに終了することができて大変ありがとうございました。20周年記念誌の発行という大事業がまだ残っておりますが、その中のメインテーマとして、パスト会長による座談会を計画いたしまして、今日皆さんにお集まりいただいたわけです。20周年記念事業実行委員長を勤めさせていただいた関係で今日は司会をさせていただきます。苦心談や思い出等多々お有りと思いますが、忌憚のないお話しをお聞かせ下さい。

それでは最初に森編集委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。

森 パスト会長の皆様には大変お忙しいところを座談会にご出席いただきありがとうございます。今日は、パスト会長の皆様に創立時や、会長時代の苦心談、思い出や、ロータリークラブの今昔、これからの有り方等お聞かせいただきたいと思います。

荒井 肩のこらないような座談会にしたいと思います。また編集委員の方々もよろしく願います。



パスト会長さんの中には、すでに物故会員になられた方々がおられますが、まず初代会長の平岡さんから、どうして飯能ロータリークラブが誕生したのかそのへんのことを物故された方々の思い出を含めてお話しいただきたいと思います。

平岡 当クラブには大変立派な10年誌が出来ております。今度20年誌を出す訳

ですが、今日は10代以降の会長さんに大いに話していただきましょう。（笑）

さて、どういう経緯で飯能RCが出来たかということですが、たしか昭和30年代のはじめ頃だと思いますが大宮ロータリークラブから私の先代の平岡良蔵や双木さんのお父さん（双木卯之助氏）に飯能にもロータリークラブを作らないかという話がありましたが、わざわざ昼食をとりそんな所に行かなくても昼食は家でうどんでも食べればいいんだ。（笑）、そんな馬鹿馬鹿しいことなんかできるか。（笑）ということでこの話はおじゃんになってしまいました。豊岡や狭山にも同じような話があったようですがまとまらなかったようです。

その後大宮クラブが親クラブとなって拡大の気運が高まりまして、飯能、豊岡（今の入間市）、狭山に話しがきたのですが夫々では仲々まとまりませんでした。そして、当時豊岡町であった入間市に飯能、狭山が一体となって武蔵ロータリークラブが出来た訳です。

その時飯能から通ったのが私と、小林さん（小林貞治氏）と東雲亭のおじいさん（横川竹造氏）と佐野さん（佐野作次郎氏）、及川さん（及川愛吉氏）も居られたと思います。細かいことは武蔵RCの記録を調べていただければ解ると思います。豊岡までは電車で行きまして、豊岡にあると魚一という料理屋の座敷で例会をやった訳ですが、恐らくは日本でただひとつのお座敷でやる例会ではなかったかと思います。それが昭和30年代でした。

チャーターナイトは豊岡や狭山に適当な会場が無かったので、飯能の公会堂でやりました。ですから公会堂でのチャーターナイトは武蔵の時と飯能とで2度行われたことになります。

その頃商工会館が現在の所に完成しまして、完成の祝いの意味も兼ねて商工会議所会員を主体として飯能ロータリークラブが誕生した訳です。その時のメンバーが今日お集まりのバスター会長の皆さんということですが、どこでもそうですが、街の中には派閥が有ってああでもない、こうでもないということがいろいろ有り、ロータリークラブを作ってそのようなことを無くしたいというのがいちばんの目的でした。もうひとつの目的は飯能市も国際的なつながりと感覚をもってもよいのではないかということでした。双木さん（双木卯之助氏）が



会議所の副会頭を当時しておりましたので、ロータリークラブの副会長になってもらい、銀座通りに洋品店を出していた斉藤承吉さんが会議所の専務理事をしておりましたので、幹事、そして私が会長ということで飯能ロータリークラブがスタートした訳です。

荒井 チャーターナイトの時の苦勞のご記憶はありませんか？

平岡 そうですね、チャーターナイトのときに一番気をつかいましたのは日高を飯能ロータリークラブの地域に入れるということでした。結果として日高を川越ロータリークラブから分けてもらったわけです。将来、いつれ飯能と日高町が合併するのではないかという気持ちがあったので、日高をテリトリーに入れた訳です。その時日高町に後藤平吉さんがおられぜひ飯能ロータリークラブに入会したいということで、入れました。しかし日高を地域に入れる交渉にさいして、アメリカの本部の承認が仲々とれませんで、大巾に創立が遅れてしまった訳です。このことが一番の苦勞でした。チャーターナイトは皆さんの協力が有りましたのでそんなに苦勞したとは思って居りません。

荒井 現在佐藤さんが事務をやってくれておましてこまかく文書の整理されておりますが、初代当時の記録は割に少ないように感じますがいかがですか。

平岡 その頃仏子の西久保蔵六さんに事務をやってもらっておりましたが、その方は町の助役などもつとめられた方で、大分年配の方であったので大変だったようです。私は記録がファイルして有るのを見た記憶がありますよ。

当時のガバナーは東京の神守源一郎さんという人で、仲々きびしい人でしたね。

曾根 チャーターナイトのときに人数が足りないということで、斉藤承吉さんなどが元日に訪ねて来られて私を含めて5名入会したことを覚えています。そして4月にチャーターナイトが行なわれた訳ですが、そのとき私と一諸に入会されたメンバーは小峰正夫さん、山崎省次さん、田中鎮次さん、加藤義市さんだったと思います。

荒井 たしかチャーターナイトの記念品は平岡さんのところのレースでしたね。

歴代の会長さんにはその時代のお話しを中心におうかがいたします。それ





では新井さんお願いします。

新井 私は4代目の会社ですが2代目は小林さん（小林貞治氏）でした。そのとき私に3代目をやってくれと云われたのですが、双木さん（双木卯之助氏）が副会長をやって居られたので双木さんに3代目の会長をやっていただきました。たしかその時から副会長は一年休める形ができたのではないのでしょうか。

私のときはクラブの形がいろいろと変わったように思っております。事務の西久保さんが罷められて忙がしくなった上に例会場が商工会館から現在の埼玉銀行に移りました。又地区も358地区の東京から分れて357地区として千葉と一諸にやるようなことになりました。ガバナーは千葉RCの川名さんという人でした。事務も新しく佐藤さんに代りましたが、佐藤さんもそのころは慣れなくて大変だったようです。なにしろ私のときは変わったことが多かったわけですが、クラブが充実してきたころでもあったと思います。

荒井 例のGSE（研究グループ交換）は新井さんの会長のときでしたか。

新井 GSEは私の分区代理のときでした。

平岡 なにしろ10代までの会長は私と新井さんきり残ってないので貴重品ですから可愛がって下さい。（笑）

わずか20年でこんなに変わったかと思うとびっくりしますね。

荒井 その時の年次大会は千葉の鴨川でしたね。

新井 私の時はロータリークラブが軌道にのったときで、ガバナー訪問のときは川名ガバナーが東雲亭に泊まったり、わざわざ仙台の方からお客さんが来てくれました。

平岡 ロータリーが出来る前は、<sup>はな</sup>織屋さん、材木屋さんや商店街などが職種毎に会合を聞いていたようですが、ロータリーが出来てから異業種の人達が一堂に集まって話しが出来るようになりそれはありがたいことですね。

もう10代までの会長はいないので次は11代になってしまうのですが、11代目はだれですか。

荒井 11代目は私ですが、私の前に20周年記念事業で大変で苦勞された斉藤先生にお願いしたいと思います。



齊藤 はっきり云って江原さんに副会長をやれと云われまして何ということもなく引受けたわけですがその江原さんをうらみつつ（笑）会長をやった訳です。副会長を引き受けたときは会長時に20周年記念業事をやるということはまったく知らなかった訳です。先輩達から過去どういことをやってきたかという記録を見せてもらって委員会名簿を作り直してみたのですが、そうしたらメンバーの中で、10年間役職や理事になっていない人が4～5人あった訳です。私はそのような人にぜひ役をやっていただき会員皆が同等な立場で義務と権利を分け合ったらよいと思ひまして人事を発表させていただいた訳です。またロータリーは規則が多すぎるのでどのように運営しようかと思ひましたが、何ごとも先輩達に聞いて最大公約数を作り出して、各委員長にもあまり予算にとらわれずに自由にやっていただくようお願いしました。結果は決算が予算とあまり変わらずよかったと思ひます。今の世の中は福祉福祉と物質的な福祉の面では非常に充実しているのですが、精神的には荒れて来ている事情にありますので、精神的な奉仕を行つたらと考へまして、前半秋山チエ子さんによる講演会を行ないました。物をもって喜ぶより教育的なあるいは精神的なものを与えることによる奉仕を行ないました。

後半は20周年記念事業の方に力を入れることになりました。そもそも飯能ロータリークラブはここにお集まりのバスト会長の皆さんが作り上げてきたものだと思います。

そこで20周年記念事業はそのバスト会長さんに役を分担していただいて盛り上げていただく方がよいと思ひまして、各重要な役をお願いして次第です。自分は連絡係のつもりでやりました。ご婦人の方々も全員の方に出席いただいて桜の花の満開の時期に、完成したばかりの市民会館でいろいろなチャンスにめぐまれて20周年の式典が出来たのだと思ひます。私は途中で涙を流してしまいましたが、それはバスト会長や会員の皆さんの友情に涙した次第です。

例会ではちょっと変わった形の3分間スピーチをやりました。それは一年たつても何も話さない方も居られるので、ロータリーを再認識していただくと同時に自分の業界の勉強をしていただくことも含めて計画した訳です。とにかく私

の年度は解らないうちに夢中で終わったというのが実感です。

荒井 それでは私の年度のことを述べさせていただきます。丁度私が創立10周年の記念行事を行う年度に当たってしまったわけですが、井上さん細田さんにご協力をいただいて、どうやら10周年の行事も無事に済ませました。その中でもいちばん苦勞したのが記念講演の時の講師の問題でした。あとで皆さんからで批判をいただいたのですが、講師を見つけるのに骨を折りました。講師は戸川昌子先生でした。それともうひとつ、青年会議所にロータリークラブとライオンズクラブが協賛して宮城まり子先生の講演会を催した時、いろいろゆきちがいがあって苦勞したことも忘れられません。

20周年のときは立派なちゃんとした会館が出来てよかったですと思いますが10周年記念式典は公会堂の中の中央に仕切りを作って行なったということも苦勞と同時に印象として残っております。

次に吉島さんお願いします。



吉島 私も10数年前のことで、良く覚えておりませんが、記憶を辿って見ますと、私が会長の時は脇役が良かったですね。副会長が比留間先生、幹事が小室先生、SAAが竹田さん。それに職業奉仕が椿本チエンの福田さん、社会奉仕は森さん、国際奉仕が双木（久）さん、親睦が大久保（一）さん、プログラムが溝口さん等と、その他最高のスタッフがそろいました。

先づ第一例会では思いもかけず、今は亡き前島会員が予告もなく、現金50万円をR I財団へ寄付すると差出され、皆驚くやら感激するやらで、吉田会員令嬢早子子さん奏でるエレクトーンの響にも乗って、誠に順調な滑り出しでした。お陰様でポールハリスクエロウが相次ぎ、財団寄与率は一年間の伸びが1,000%に達するという新記録となりました。

この他今でも記憶に残っていることを思付くままに申し上げますと、バツキー白片のハワイアンバンドを招んでの観月会には百名を越す参加者がありました。又萩野会員のお世話で、ライオンズ、JCと共催でしたが、川上哲治監督の野球教室を開催盛大でした。京都への親睦旅行では、新井、井上両会員のお蔭で清水寺の奥院に上がり、既に百歳を越す大西良慶師の法話を頂いて感激しまし

た。

それから一番嬉しかったのは、ウイズイ先生の紹介で横田基地を訪問、学校施設・チャペル・世界最大の輸送機など見学のあと、基地のご婦人も華やかに参加して将校集会所でのパーティー。席上司令官と並んで挨拶、それをウイズイ先生が通訳、そして幹杯と夕食。何時までも続く会話。何か映画のシーンのようで、皆大喜びで帰って来ました。正にロータリーならではの国際交流で、一生忘れられない思い出となりました。丁度米国建国二百年祭の時でした。

次はお金のことになりますが、前期から繰越されたのは4万円余りでしたが、次期へ申送ったのは60万円近くに達しました。それと言うのは、二三年以内に日高クラブを新設しようということになり、比留間先生と大沢歯医者さんが物凄く新会員を集めてくれ、15名の増強の結果、退会者を差引いても純増10名という大記録を達成、今もそのまま残っています。この結果予算に計上した以上の入会金が入り、又会費もどんどん増えて残った訳です。

最後に当時のガバナーは山口さん、分区代理は入間の水村さんでした。会長即ち私は不敏で失敗ばかりでしたが、スタッフに救われ誠に順調、幸運な一年間でした。

荒井 その頃日高では準備が始まったのですか？

平岡 比留間先生が非常に熱心でしたね。

吉島 比留間先生には本当に恩にきております。

荒井 千葉と分かれて埼玉だけで257地区となったときの会長さんはだれでしたか。

吉島 繁田さんがガバナーのとき千葉と埼玉がふたつに分れたのだと思いますよ。

曾根 中里さんが会長の時だと思いますよ。

吉島 私が副会長で曾根さんが幹事の時でしたね。

新井 繁田さんがガバナーで、私が分区代理のときでした。

荒井 それでは13代の会長の井上さんお願いします。

井上 私は13代目ですがふりかえってみると昔はロータリークラブもゆったり



していたと思います。当クラブのチャーターナイトのとき、桜の花が満開で、今のチャーターナイトと違ってのんびりして物見遊山のような気持ちで参加したものです。お客さんを天覧山に案内したり、平岡さんのレース工場を見学したりしながら公会堂でチャーターナイトをやった訳です。

会員時代の苦勞とといいますと、小林さん（小林貞治氏）が会長のときに会報委員長をおおせつかった訳ですが、そのころまでは会報というものがなくて、予算もたしか2〜3万円位だったと思います。

そのときは良い機械も有りませんしコピーも有りませんし、それで会報を作れということで、テープレコーダーで録音をして夜の夜中までイヤホーンを耳につけて鉄筆で原紙を載ったものです。

それを商工会議所のガリ版で刷って発行しましたがとても週報は間に合わないで月報にした訳です。

4週をまとめて月報にしたわけですが、それをガバナー訪問のときに出しましたら、ガバナーから今どき月報なんか出しているクラブはない。週報にしないかと叱かれた記憶があります。

私の会長のときは、幹事が清水栄次さん、職奉が日高の清水勇三さんで、その時の目玉商品は職業紹介バザールです。お互に職業の違った会員でいながらどうも商売の内容をよく理解しあっていないのではないかということで、お互に胸襟を開いた職業のディスカッションをやろうと開催したのが職業紹介バザールでした。これは恐く地区としては初めての催しでしたし、バストがバナーが多数興味をもって見に来てくれました。これは中央公民館で行なったわけですが幸い会員の皆さんの非常なご協力で成功裡に出来たことを感謝しております。大体このようなところです。



荒井 やめられた加藤音治さんが大変熱心にやられたようですね。ところで週報は井上さんのときからですか。

溝口 週報は私が会報委員長のときですから、5代目会長の小川（郁）会長年度からです。

平岡 本当に会報は井上さんが始められたようなものですね。よく会議所に来

て書いてましたね。

荒井 それでは14代の小室先生がおなくなりになってしまったので15代の細田さんをお願いします。



細田 それでは印象に残ることからお話しします。私がロータリーに入ったきっかけからお話しします。ロータリーのことはあまり解らなかつたので入る意志はなかつたのですが、たまたま武蔵野銀行の曾木さんという方が将来かならず入らなくてはならなくなる、ということをつて天覧山のところに有ったゴルフの練習所でお話を聞きました。そのようなことで何が何だか解らないうちに入会したのが昭和39年でした。それから20数年たつわけですが入会してよかつたことづくづく思うことは、飯能市以外の地区及び分区の中のいろいろな人達と交流出来ることです。荒井先生のときに幹事をしまして先生に大変しごかれたことで今の私が有るのだと思います。(笑)

私が会長のときには12名の増強をしまして、ネットは7名でしたが吉島先生の時について2番目の増強数でした。幹事を二回断りまして、3回目に引き請けた訳ですが、私が会長のときには竹田さんに幹事をさせていただいて大変良かったと思っています。やはり会長と幹事とのつながりは大事なことでであると感じております。

印象に残ることは沢山有りましたが、先程お話ししたようにいろいろな職業の方と食事をしたり、交流が出来るということは、ありがたかつたと思います。生きているかぎりロータリークラブにおつき合いをしていきたいと考えています。これで終わります。

荒井 細田さん手術をなさつたのはいつでしたか。

細田 昭和43年です。会長になる前です。その時半年程休んでしまつて、それ以来は休んでおりません。このことは非常に残念です。

荒井 それでは16代会長の吉田さんをお願いします。



吉田 ハイ、私の会長のときのことは会報でよく御承知のことと存じますが、(笑)お話しします。前年度の細田さんが非常にハッスルして増強をしかつ活発な年度だったのでその後をやるのに大変困つた訳です。

ですがロータリーというのは誰がこうだったとか比較をすることはしないことですので一応それを心の気休めとしてやりました。私の年度では15周年記念事業がありましたが、とに角内輪でやるということでしたので、ごく招待者も少なくして丸広の会場でやりました。またいちばん記憶に残っているのはアジア大会が有りまして韓国に行った時のことです。この時韓国の空港で入国に手間がかかりまして、これでよしとなって会場まで行ったら大会がなくなってしまったという状態でした。

平岡 その時が韓国は初めてですか。

吉田 その前に石井先生（石井尊四郎氏）が会長で私が幹事のときに行っています。

当日はニュー清州の方達が飯能クラブというプラカードをもって待っていてくれたそうですが会場でお逢いすることは出来ませんでした。やむをえず大会の事務局に行きましてメーカーカードや参加した人の記念品やらをもらった訳ですが、ただ会場の雰囲気は味わうことが出来ませんでした。しかしそのあとニュー清州のクラブの方々と会食をしまして目的は達したと思います。私の時代では15周年記念と韓国に行ったことが大きな記憶に残ります。

いづれにしましても皆さんでやるロータリーということをテーマに行ないました。思い出といいますと、ロータリーのことに全々知識がないときにゴルフ場で平岡さんに今度飯能にロータリークラブが出来ると入らないかと云われて入会した訳ですが、何もロータリーを知らないうちに2年目のときにSAAをやらされまして、今と違ひましてSAAが自分で情報をみつけなければならなくて、会員の誕生日や結婚記念日や会社の状況やらを全て自分で調べた訳です。各会員もSAAに云われてから、ああそうですかということニコニコボックスに入れる状態でした。今から思うと会員皆が自分がどういうことをやったらよいのか解らなかつたのではないでしようかね。（笑）

平岡 自分の行状のよかつたことを云うのが皆はずかしいと思っていた時代ではなかつたのですかね。

吉田 とにかく3～4年なにも解らなかつたですね。しかし今のロータリーは



よくなったですね。私のときのガバナーは綿貫さんで幹事は森さんでしたが、ガバナー訪問の際、ガバナーが東雲亭にこられたときに丁度花火が上がりまして、ガバナーが来たので花火が鳴りましたと云ったらガバナーが本気にしてしまったエピソードがありました。(笑)

そんなことでございます。

荒井 次は曾根さんお願いします。

曾根 私はのん気な会長でしたが、会長の時というより私がロータリマンになってからの印象を申し上げます。ロータリーは国際性豊かなものであると東京のロータリークラブ等で感じていたし、京都のロータリークラブ等にもちよくちよく訪問していたものですから、飯能ロータリークラブも国際色が必要ではないかと思つねがね思っておりました。その時に丁度聖望学園の役員をしていたものですから、学校の役員会の際に理事長のウィズイさんにロータリークラブに入らないかと説得をしまして、3回目の学校の理事会で承認が得られ、ウィズイさんのロータリークラブへの入会推選手続をとり入会をしてもらいました。

このウィズイさんが非常によく活動してくれました。また飯能ロータリークラブにはアメリカさんが居るということで飯能ロータリークラブの特徴にもなったのではないかと思います。また外人さんが来られたときはウィズイさんが通訳をしてくれまして、今の柴田さんもそうですが飯能ロータリークラブはいちばん横文字に強いクラブではないかと思います。

それから私が国際奉仕委員長をやっているときから交換学生の受け入れと派遣を行ないましたが、堤園子さんが派遣学生として合格をしたときは、うれしいやら心配やらで大変でした。派遣するとなると受け入れなくてはならないということで、代りにオーストラリアからヴィッキーさんを受け入れることになった訳です。飯能ロータリークラブとしては初めて交換学生の体験を得たということだと思います。これがひとつのくちあけとなって、次の江原年度にごめいわくをかけたかと思ひます。(笑)

そのようなことが私の印象として残っています。

荒井 曾根さんのときからでしたね交換学生の始まったのは、

曾根 幹事のときです。

カウンセラーになったのは、私が会長のときです。

平岡 ウィズイさんは今どこにおられるのですか。

曾根 ウィズイさんは今国立に住んでいます。アメリカンスクールにいますよ。

溝口 先程会報の話が出ましたが、井上さんから、小川（郁）さん、財満さんと引き継がれ私に番が廻ってきました。

次年度会報委員長の地区の勉強会で、リーダーの神守バスターから会報のことについて、週報でないクラブがあるようだが是非週報にするようにとアドバイスがあり、又井上さんのとき以来前任者からの申し送りもあって、5代の小川会長年度から週報が始まった次第です。次の江原さん以降会報を立派に仕上げられて、ガバナー表彰を受けたこともあります。

18代の会長として、竹田副会長さん、幹事の関谷さん、SAAの吉田（勇）さん達とヒナ壇に並ぶことになりました。みなさんによくやって頂きましたので、これとって困ったことは無かったのですが、RI会長のターゲットには弱りました。

「ロータリーを通じて世界理解と平和を」と何んともスケールの大きい指導方針なので、わがクラブとして、これにどう取り組んでゆけばよいか、真剣に考え込む日が続きました。しかし“案するより生むが易し”でクラブフォーラムのお蔭で次々とよい実施計画が樹てられました。

卓話の講師に外国人の方をお招きする機会を頻繁に持って会員お互いの国際感覚を身につけることや「国際ロータリー南太平洋地域会議」に参加することやフィリピンの里親運動に協力すること等が主なものであったと記憶しますが、飯能と姉妹都市であるブレヤ市に数名の会員が行かれて街ぐるみのおつき合いが始まったのもタイミングがよかったと思います。

関谷幹事さん、国際事任委員長の齊藤さんと私の3人でオーストラリアの南太平洋地域会議に参加した思い出は忘れられません。西オーストラリア945地区パースロータリークラブの深夜の空港への出迎え、メイクアップ、ホームホス

ピタリイティ等々ロータリアンシップの素晴らしさ、ロータリーライフのよさは忘れることは出来ません。バースでは井上会長年度に相互訪問チームのメンバーとして当クラブに来られたいテリン・バービル嬢にも会って懐旧談に花を咲かせ、会議開催地メルボルンでは故小室会長年度の交換学生ビーキー嬢と両親にも会って、家族で楽しい一夜を過ごしました。

曾根会長年度からの引き継ぎの重要項目である日高クラブ設立問題は準備委員会の設立から始められました。そしてチャーターナイトまでのスケジュールのあらましが樹てられました。新井清平会員が特別代表に選ばれて、R Iからの依頼状をお渡しする先栄を得ました。

その他の思い出としてはなんといっても期末の親睦旅行です。親睦委員会のお骨折りで駒門駐屯地に体験入隊とまではいませんが、詳しく案内して頂き隊内食、新鋭戦車の試乗等々富士の裾野で得難い経験と国際知識を保ました。

“モアーシンプル” “モアーアクティブ” を掲げて257地区のロータリアンに訴え、自らも実践された清水達也ガバナーは、素晴らしいガバナーであったし、その指導を短期間ではありましたが受けた自分は幸であったと思います。

荒井 それでは次に江原さんお願いします。

江原 私の年度は19代目ということになるわけですが、吉島先生が分区氏理になられて、飯能でIGFがありました。実は私はIGFは2度経験しております。武居さんが会長で私が幹事のときに雨だれ荘でIGFをやりました。分区代理が所沢の齊藤さんで、夜所沢に何回も呼び出されて家に帰ってくるのが夜中の1時2時でしたね。そういうわけでIGFは過去に1回やったことがあるわけですが、私が会長のときのIGFは吉島先生と吉田（富）委員長の陣頭指揮で立派に出来たとよろこんでおります。

私のときにいちばん問題になったのはこのIGFと、私の年度を最後として日高の会員が新クラブを作り独立するということでした。幸いなことに幹事が現日高の清水勇三さんだったので、彼に頼のみまして委員長や組閣を全部まかせまして、それも全部日高の人にやってもらうことで、その経験を生かしてチャーターナイトをやりまして日高クラブ誕生をみたということです。それに



20周年の記念事業なんです思い出しますと、雨だれ荘にバスト会長さんにお集りいただいて、その席で20周年の実行委員長は誰れ、特別代表は誰れ、拡大委員長は誰れ、と定めたのですがだれひとり異議がなくてほんとうによかったなと思っています。その後荒井先生と特別会費はいくら位集めたらよいか等を相談したと記憶しております。

それと I G Fが無事に終わってから分区代理の吉島先生から歴代の会長の中には名会長はいたけれども、私と斉藤副会長、清水勇三幹事、細田吉春 S A A のコンビは名コンビであるといわれまして一年間の苦労がその言葉ひとつで吹き飛んだ気持ちでした。それから交換学生のことですけれど、私が会長の最後の頃、川越女子校に行っていた高橋まみさんという子が川越クラブに行って交換学生のテストを受けたいということでしたが、飯能に住んでいるのならば飯能クラブで受けなさいということになったのですが、しかし私の年度にもう残り少ないのだから次期の竹田年度にしたらどうかを云ったら、そのときは試験がほとんど合格をしている状態でした。結局は竹田年度に移したわけですが、思い出しますと飯信の臨時の例会場でカウンセラーになってくれと云われまして、一年位はのんびりさせてくれと断ったものの、とうとう引き受けさせられて家に帰っても家内に一ヶ月程何も云えなくてしらばつくていました。(笑)

カウンセラーともなれば、外国から派遣された学生の面倒も見なくてはならないんです。やっと家内を納得させて、オーストラリアから来る交換学生のジェニーを受け入れることになりました。

ジェニーが来た日は大雪の日でした。朝六時に飛行場に着くという連絡があったので夜12時にチェンをつけて吹雪の中を迎えに行きました。そして一年間いろいろ皆様に御世話になりました。

今でも手紙が来ます。そんなことでいろいろ苦しいやら、うれしいやら思い出が沢山あります。

入会当時のことをちょっと申し上げますと、飯能市商工会議所に青年部会というのが有りまして、三代目に私が会長をやりましたが、会長を終わった時ロータリークラブに入ったらどうかとすすめられました。前島さんが同業者というこ

とで推薦者となって、4月から入会しました。入会して例会場に行きましたらあまり偉い人ばかりで、当時は45人位だったと思いますが、丸いテーブルになっていて半年位の間は食事がのどに通らなかったことを覚えています。

平岡 そのときの会長さんはだれでしたか。

江原 小川さん（小川泰氏）でした。小川さんからロータリーの本を借りて読んだ経験があります。

今の会報の写真は私が会報委員長のとときに紹介したのです。以前会報の写真は桜の景色でしたが桜は冬にはマッチしないということで、今の名栗川の景色になった訳です。

荒井 次に竹田さんをお願いします。

竹田 私は20代目の会長をお引受けしたわけですが、幹事の久保さん、国際奉仕の細田バスターナイト会長始め、皆さんのご協力で、江原年度からの引継ぎ事業をこなすことができたわけですね。年度始めの7月2日には中善寺バスターナイトより交換学生のことで大宮に呼ばれ、「飯能ロータリークラブで高橋真美君を推薦してくれますか」と聞かれまして「私としては日高ロータリークラブの創立総会とチャーターナイトが間近に控えているので」と躊躇していると、清水バスターナイトから「優秀な学生だったらどうしますか」と言われてしまい「理事会に計ってご返事します」と言うことで皆さんに承認を得て決定させて頂いたわけですね。7月5日の日高ロータリークラブ創立総会には全会員の出席をお願いしたり、埼玉銀行の改修工事の為に第1例会より4ヶ月間も信用金庫に例会場を変更したり、年度早々より行事山積でてんやわんやでした。次に財団奨学生として飯島京子さんが受験に合格しましたが、一身上の都合で辞退されてしまい、飯能ロータリークラブ第1号の財団奨学生が実現できず残念な思いをいたしました。又第1例会に韓国東清州ロータリークラブから元会長の金熙模きんひもが出席し「飯能ロータリークラブからは再々おいで頂いているので東清州からも訪問団を編成して姉妹クラブとして国際親善を深めたい」と申入れがあり、受入れの



打合せに国際電話で苦勞した記憶が残っております。又ロータリー財団への寄付はフェロー2名準フェロー7名の方に協力頂き、それから所沢ロータリークラブの中善寺先生がガバナーで、第8分区が全員参加の地区大会にしようと言う事で皆様大変お骨折りを頂きました。私の年度にはR I会長の表彰制度ができました。新クラブのスポンサーになること。青少年交換に参加すること。地区大会に昨年度を上回る参加者のあること。財団への寄付が昨年実績より10%増すこと。その他数項目あって、4項目以上の目標を達成するとR I会長より表彰されるという制度ですが、I G Fの席で中善寺ガバナーより「飯能ロータリークラブがR I会長賞候補の第1号です」と発表されて出席者全員の拍手を受け感激しました。又4月18日の日高RCの認証状伝達式は、新井特別代表、井上拡大委員長のお骨折りで日高高校に於て盛大な式典を行い、スポンサークラブとして大役を果たす事ができたこと、交換学生の高橋真美君とジェニー・ハンターのカウンセラーを江原バスト会長に引受けて頂いた事に感謝しております。この様な事業が無事に消化する事ができたことは、会員一同のご協力の賜と感謝するとともに、忘れることのできない思い出として心に残っております。以上年度内主要事業を報告して終りといたします。

荒井 大変短い時間の座談会で申し訳ありませんが、今日の皆さんのお話しは貴重な記録になるのではないかと思います。皆さんのお話しをお聞きしてまして私もそれぞれ思い当る記憶も有りますし、記憶の薄れているところも有ると思いますが、ぜひこの座談会の記事を会員の方々にお読みいただければ、飯能RCのあゆみがお解りいただけたらと思います。

まだまだ話はずきないと思いますがこれで座談会を終らせていただきます。



おわり

---

# 飯能ロータリークラブ 17年以降の記録

---

飯能ロータリークラブ創立より16年迄の記録は  
10年史、15年史に収められているので割愛する。

第17年度

1980.7 ~ 1981.6

(55.7 ~ 56.6)

HRC

役員構成

国際奉仕委員会	清水勇三
ロータリー財団委員会	清水栄次
社会奉仕委員会	福田博
青少年委員会	竹田久治
環境保全委員会	林幸一
職業奉仕委員会	斉藤文雄

会長	曾根 丈治良	理事	清水 勇三
副会長	江原 寿	〃	福田 博
幹事	大野 勝男	〃	齐藤 文雄
副幹事	関谷 昭	〃	花家 孝之
会計	関根 克二	〃	三角 昭二
S A A	市川 清二	〃	吉田 富雄
副S A A		〃	溝口 卓男

クラブ奉仕委員会	江原 寿
出席委員会	吉田 勇
職業分類委員会	大木 重雄
会報委員会	高木 泰文
ロータリー情報委員会	吉田 富雄
親睦活動委員会	三角 昭二
厚生活動委員会	島田 哲
文化活動委員会	佐藤 英典
雑誌委員会	細田 吉春
会員選考委員会	加藤 栄
会員増強委員会	大野 康夫
プログラム委員会	花家 孝之
広報委員会	山崎 一郎
寿委員会	荒井 栄

入退会者

入会者 (7名)

橋本 義行	55.8
樋口 善彦	55.9
大沢 利一	56.1
田瀬 甲太郎	56.1
柴田 千頭男	56.1
若月 広道	56.2
関根 克二	56.6

退会者 (6名)

薬袋 明義	55.7
中島 幸男	55.7
池田 五郎	55.10
川崎 一郎	56.3
沖田 昭三	56.5
福田 禾積	56.6



55.10.22  
ブレイ市民訪問団歓迎





55.11.19  
名栗観音見学



56.4.1  
川上少年野球教室



1980.7～1981.6

卓 話

- 55.8.6 柳飯能警察署長「警察うらばなし」
- 8.13 入間RC 堤可夫氏「日本建国の謎」
- 8.20 川越RC 西川鎮八氏「医師教育とその将来について」
- 8.27 狭山RC 牧野逸郎氏「ロータリーあれこれ」
- 9.3 埼玉調査部長 黒沢恒彦氏「経済講演」
- 9.10 小山次郎氏「よもやま話」
- 10.29 吉島力良会員「職業報任についての私見」
- 11.5 狭山RC 志村義一氏「ロータリー財団週間にちなんで」
- 11.19 尾尻天外導師「法話」
- 11.26 繁田正一バスターガバナー「シカゴ大会と規定審議会について」
- 12.3 関東財務局浦和財務局長 藤田清氏「財政再建を考える」12.10 松原誠氏
- 12.10 松原誠氏「野球よもやま話」
- 12.17 デビッドバンサー君「交換学生としての経験」
- 56.1.7 青木実 飯能市助役「年頭の挨拶」  
大川戸清 日高町助役「年頭の挨拶」
- 1.21 田野保夫会員「酒を愛して」  
橋本義行会員「尺八について」
- 1.28 柏原孫左衛門氏「ロータリー放談」
- 2.4 広沢輝雄バスターガバナー「ロータリー思うまま」
- 2.18 浪越徳二郎氏「指圧よもやま話」
- 3.11 花家孝之会員「女性と健康」
- 3.25 江木言論科学研究所本田摂子先生「明るい家庭と話し方」
- 4.8 請関邦山氏「焼物について」
- 4.15 赤田健一氏「雑誌週間にちなんで」
- 4.22 樋口善彦会員「マダガスカルについて」
- 5.16 関ときを氏「日劇ミュージックホールの思い出」
- 5.20 厚生省精神衛生課長 野崎貞彦氏「我が国の保健衛生の動向」
- 5.27 丸木清美氏「国際障害年に想う」
- 6.17 狭山RC 堤可夫氏「文明開化の奈良時代」

## 任期を終了して

第十七代会長 曾根 丈治 良



飯能ロータリークラブ会員の皆様この一年間至らぬ会長に対する温かい御支援御協力を賜り有難う存じました。江原副会長さん、大野幹事さんを初め役員の皆様方にも並々ならぬ御世話になりました事衷心より感謝申し上げます。

R I、クラリッヒ会長が示された「時間を捧げよう、奉仕の為に」のターゲットの意味の深さが、任期を終らんとする今になって初めて身にしみる思いです。就任に際して。計画し、念願した多くのロータリー奉仕の理想図のどれだけが実現出来たでしょうか？回顧して汗顔の至りです。

結局は時間を捧げられなかったか、時間の捧げ方の工夫、努力が足りなかったかを反省するばかりです。然し私は飯能ロータリアンの皆様の人格、識見、責任感等素晴らしい資質に満腔の信頼を托して居りましたが、結果は将にその通り、各担当委員会の皆様に立派な成果を修めて頂いた事を心から喜んで居ると共に感謝申し上げます。

日高地区会員の皆様も、日高ロータリークラブ創立の準備行動に入られて大変な御苦勞と存じますが、特別な御協力も出来ず申訳なく存じます。日高町の発展と共に立派な新クラブ誕生の一日も早からん事を御祈りすると共に今後御遠慮なく御相談下さる様申添えます。種々な事情で退会された会員の皆様を送り淋しい気持ちでしたし、物故された、川崎会員や上村、武久、元会員の在りし日を偲んで、心から御冥福を御祈り致します。然し会員増強委員会の皆様の御骨折りで7名の新しい会員を御迎へ出来、清新なる活動力が加りました事は最大の喜びです。ロータリー財団寄金に就きましても会員皆様の御理解により3,800%を実現して前年対比500%増となり、ポールハリスフェロー賞も、吉田、大野会員の御参加を頂きました事は感謝に堪えません。私の提唱致しました「例会第一主義」に御協力下さって例会場を快よく、楽しく、そして食事をおいしくする為の素晴らしい音楽を常に工夫、選曲されました、佐藤文化活動委員長さんに改めて御礼申し上げます。その他数々の成果を列記出来ませんが一年間飯能ロータリークラブ17年目の会長を、無事務める事が出来ました事の一端を申し上げますと共に、会員皆様、事務局の皆様に感謝を捧げて御挨拶と致します。

第18年度

1981.7 ~ 1982.6

(56.7 ~ 57.6)

HRC

国際奉仕委員会	齊藤文雄
世界社会奉仕委員会	齊藤文雄
ロータリー財団委員会	大木重雄
社会奉仕委員会	大久保一郎
青少年委員会	福田博
環境保全委員会	加藤栄
職業奉仕委員会	新堀隆治
クラブ奉仕委員会	竹田久治
出席委員会	佐藤英典
職業分類委員会	花家孝之
会報委員会	小林忠雄
ロータリー情報委員会	曾根丈治良
親睦活動委員会	大野康夫
厚生活動委員会	吉田武義
文化活動委員会	森和夫
雑誌委員会	横田岩雄
会員選考委員会	細田徳二郎
会員増強委員会	荒井栄
プログラム委員会	島田哲
広報委員会	林幸一
寿委員会	小室敏一

役員構成

会長	溝口卓男	理事	齊藤文雄
副会長	竹田久治	〃	大久保一郎
幹事	関谷昭	〃	新堀隆治
副幹事	清水勇三	〃	島田哲
会計	関根克二	〃	大野康夫
S A A	吉田勇	〃	曾根丈治良
副S A A	細田吉春	〃	江原寿

入退会者

入会者 (7名)

小川 定	56.9
石井 道夫	56.12
沢辺 静彦	57.1
五十嵐一之	57.3
近藤 和夫	57.3
大沢 奥	57.3
村田 洋介	57.4

退会者 (7名)

遠藤亀鶴雄	56.8
市川 清二	56.8
沢藤 聡	57.1
大貫 昭夫	57.2
半田 正夫	57.2
佐野卯三郎	57.4
島田 哲	57.6



57. 2. 10 夜間例会  
(雨だれ荘) 桜川善平  
師匠をお招きして



57. 2. 10  
41

1981. 7 ~ 1982. 6

卓 話

- 56. 7. 22 平岡文夫バスト会長「創立記念日にちなんで」
- 井上太平バスト会長「創立記念日にちなんで」
- 8. 5 加藤憲飯能警察署長「少年非行防止について」
- 8. 19 日本ルーテル神学大学教授 前田ケイ先生  
国際障害者年に因んで「完全参加と平等について」
- 8. 26 飯能消防署係長石田津義雄氏「災害と防災について」
- 9. 9 東京大学教授 西 恵三氏「天文の話」
- 10. 7 川越刑務所講師田中一郎先生「青少年の非行について」
- 10. 14 吉島力良会員「職業奉仕について」
- 10. 21 飯島染男氏「レイテ島山河に遺骨を捜し求めて」
- 11. 14 日本自動車工業会顧問 管野三知男氏「ヨーロッパにおける自動車産業の技術開発と将来展望」
- 11. 11 繁田正一バストガバナー「ロータリー財団週間に因んで」
- 11. 18 所沢税務署長大島正男氏「税を知る週間に因んで」
- 11. 25 タンセン・オン君「ヒルマ人から見た日本」
- 12. 2 津村順天堂 池尻祥先生「漢方薬の話」
- 12. 16 松本寿正先生「宮本武蔵五輪の書」
- 57. 1. 6 飯能市長 市川宗貞氏「新年の挨拶」
- 日高町長 駒野 昇氏「新年の挨拶」
- 名栗村長 町田真之亮氏「新年の挨拶」
- 1. 27 梨花女子大学教授 李御寧先生「ちじみの日本文化論」
- 2. 3 溝口会長「太平洋地域大会参加報告」  
スライド 齊藤国際奉仕委員長
- 2. 17 大蔵省浦和財務局財務部長 庄司定男氏  
「財政再建を考える」
- 2. 24 ソニー(株)顧問工学博士 鳩山道夫先生  
「エネルギーについて」
- 3. 3 シェリー・リッチ先生他留学生「外国人の見た飯能」
- 3. 10 ジョイス・オズボン氏「米国の最新情報」
- 3. 24 所沢基準監督署 増田実署長「労働災害の現状と産業構造変化による質的变化について」
- 3. 31 所沢RC 齊藤裕一氏「身体障害者に対するロータリーの対応」
- 4. 7 日本ルーテル神学大学教授 大谷嘉朗先生

- 「国際里親運動について」
- 4.14 松溪山法恩寺住職 安西昌淋氏 「人間の生き甲斐」
- 4.21 沢辺静彦会員 「私の幼年時代」  
若月広道会員 「養蚕と製糸の誇り」
- 4.28 池尻 洋先生 「漢方薬の話」
- 5.12 関根克二会員 「雑感」  
小川 定会員 「私の体験」
- 5.19 小柳詳助先生 「中年からの記憶術」
- 5.26 ケネス・ディール博士 「アメリカ・日本・中国」
- 6.9 榊原記念病院院長 小船井良夫博士  
「心臓病について」
- 6.23 「お魚の話」



57.6.16～57.6.17 親睦旅行 自衛隊  
駒門駐とん地見学



## 任期を終了して

第18代会長 溝口卓男



会員皆様の温い友情により、会長の大役を無事果させて頂きました。私はクラブとして事故もなく会員皆様と共に健康で明るく年度を了える事が出来る幸せを噛みしめ、長かったなー、よくやって頂いたなー、頑張ったなーと、もう一人の自分に静かに話しかけています。

高齢のため大事をとるからと退会された佐野先輩の外は、自己都合で退会される方はなく、会社都合の転勤移動等での退会入会は、ほぼ同数で現在入会手続中の2名を加え、増員傾向で次年度に申送れることは、私の大きな喜びであり、関係委員会に御礼申し上げる次第です。

扱今年度は7月1日（1水）の第一例会から6月30日（5水）の最終例会まで、暦の上では珍らしくキリのよい日取りで、歴代会長よりも1～2回多く点鐘させて頂きました。又7月22日の当クラブの創立記念日は、たまたま第4例会日と重なりこれも今迄にない目出度いことでした。この佳き日に日高ロータリークラブの準備会員をお招きし、7名の参会を得て、お互いに知り合い、ロータリー例会の運び方などを経験され、有意義な創立記念日となりました。

R I 会長のテーマは、取りつき憎いもののようにでしたが期初めのクラブフォーラムで「ロータリーを通じて世界理解と平和を」の取り組み方を検討した結果約8項目の実施計画が出来ました。その中、実施例の主なものとしては、国際ロータリー南太平洋地域会議参加と交換学生のアフターケアの為にオーストラリアに、姉妹都市、ブレア市と友好親善の為に米国に。等々の海外旅行があります。又ひとつには国際色を盛り込んだ卓話が毎月1回は計画され、講師の約半数は外国人であったことも、国際感覚を会員お互いが身につける上で役立ったようで、R I 会長のテーマへの対応の仕方は、充分とは言えないまでも、卓話のプログラムとしては特色があり、それなりの効果があったと信じています。

例年公式訪問は、期の前半にありましたが今回飯能RCは1月20日で最もおそいグループでした。おそい公式訪問は、結果的には成功でした。数多く訪問された今迄のクラブよりも、あらゆる点で優れていたからではないでしょうか。計画に従い実行し、それに基づいて自信をもって堂々と発表される各委員長さんの態度も話の内容もヒナ壇から見えておりました。ガバナーの口をお借りする迄もなく実に立派でした。御同慶の至りです。清水ガバナーは、指針である“モアー・シンプル”“モアーアクティブ”を私共に深い感銘を与えて、会議が終るや否や、愛車のハンドルを執り颯爽と立ち去られました。その情景は正にシンプルであり、アクティブであり、身を以て示されたようで今想起しても涼々しい気持がいたします。私は清水ガバナーからは直接に間接に御指導を頂き三上分区代理からも懇切に教わりました。よい指導者に恵まれました。クラブ内では、この一年間始めから終りまで変ることなく力強く支えて下さった関谷幹事さん、クラブ奉仕活動を熱心に指導して頂いた竹田副会長さん、例会を楽しく、正しく運営して頂いた吉田SAAさんに心から御礼申し上げます。最後になりましたが事務局の方々細かい心くばりやアドバイスを有難うございました。いつまでもロータリーを可愛がって下さい。

第19年度

1982.7 ~ 1983.6

(57.7 ~ 58.6)

HRC

役員構成

会 長	江 原 寿	理 事	五十嵐 喜八郎
副 会 長	齊 藤 文 雄	〃	三 角 昭 次
幹 事	清 水 勇 三	〃	小 林 忠 雄
副 幹 事	大 久 保 一 郎	〃	加 藤 栄
会 計	関 根 克 二	〃	細 田 伴 次 郎
S A A	細 田 吉 春	〃	溝 口 卓 男
副 S A A	福 田 博	〃	竹 田 久 治

入 退 会 者

入会者 (7名)

加藤 義雄	57.7
石井 禧行	57.7
鈴木 昭平	57.9
杉本 幹夫	57.9
市川 清二	58.3
浅野 茂保	58.3
山川 秀男	58.3

退会者 (14名)

樋口 善彦	57.7
佐野 清	57.9
佐藤 英典	57.9
若月 広道	58.5
(日高RC)新堀 隆治	58.6
(日高RC)花家 孝之	58.6
(日高RC)武藤 英雄	58.6
(日高RC)三角 昭次	58.6
(日高RC)杉本 幹夫	58.6
(日高RC)小林 忠雄	58.6
(日高RC)田野 保夫	58.6
(日高RC)清水 勇三	58.6
(日高RC)高木 泰文	58.6

国際奉仕委員会	五十嵐喜八郎
世界社会奉仕委員会	五十嵐喜八郎
ロータリー財団委員会	花家孝之
社会奉仕委員会	三角昭次
青少年委員会	橋本茂
環境保全委員会	中里弘
職業奉仕委員会	小林忠雄
クラブ奉仕委員会	齊藤文雄
出席委員会	大野勝男
職業分類委員会	清水栄次
会報委員会	大浦邦雄
ロータリー情報委員会	溝口卓男
親睦活動委員会	細田伴次郎

厚生活動委員会	田野保夫
文化活動委員会	大木道太郎
雑誌委員会	高木泰文
会員選考委員会	関口久夫
会員増強委員会	山崎一郎
プログラム委員会	加藤栄
広報委員会	横手惣司
寿委員会	平沼保夫
特別代表	新井清平
拡大委員会	井上太平

創立20周年準備委員会	荒井 栄
I G F 実行委員会	吉田 富雄



58.2.23 I.G.F(飯能市中央公民館)  
秋山 博ガバナー



1982.7～1983.6

卓 話

- 57.8.4 三角昭次社会奉仕委員長「第三の波について」
- 8.11 田野日出子先生「ヨーガ、モダンバレエ実技指導」
- 8.18 沢辺静彦会員「企業に於ける交通安全」
- 8.25 矢島巖青年会議所理事長「青年会議所の活動について」
- 9.1 橋田米造飯能警察署長「青少年の非行問題について」
- 9.29 五十嵐一之会員「INS21世紀の通信システム」
- 近藤和夫会員「私の経歴と仕事」
- 10.6 川越労政事務所所長 木村英明氏  
「労政事務所と管内労働情勢」
- 10.13 江沢幸三氏「ロータリーOBの近況」
- 品川誠三氏「ロータリーOBの近況」
- 加藤音治氏「ロータリーOBの近況」
- 10.27 佐藤柳次郎先生「インターナショナルの中味とは何か」
- 11.10 藤野淳先生「写真は記録である」
- 11.17 狭山RC 松本喜八郎氏「ロータリー財団週間にちなんで」
- 12.8 浅賀千鶴氏「朗読奉仕は私の生甲斐」
- 12.15 命の電話外人担当者 ミリアム・オルソン夫人  
「在日外人の問題」
- 58.1.5 飯能市長 市川宗貞氏「新年の挨拶」
- 日高町長 駒野 昇氏「新年の挨拶」
- 名栗村長 浅見寅雄氏「新年の挨拶」
- 1.19 イブ・ハンデンさん(アメリカ)「留学生のひとこと」
- ウラ・カーキネンさん(フィンランド) 「」
- リチャード・デビス君(オーストラリア) 「」
- チャ・チャ君(インドネシア) 「」
- 1.26 東京青年会議所 蓮池 政氏「日本の北方領土」
- 2.2 第一勧業銀行調査部長 石井浩氏「最近の経済情勢」
- 2.9 大沢 奥会員「私の経歴と仕事」
- 村田洋介会員「私の生いたち」
- 3.2 高篠平太郎氏「武蔵野に帰るの記」
- 3.9 ハーバード大学院生 ポール・シャロー氏  
「青い目の見た西鶴」
- 3.16 大野勝男会員「林業経営について」
- 3.23 安斉昌淋氏「生きる喜び」



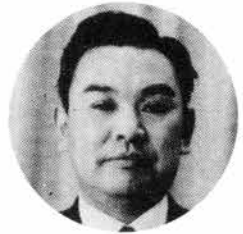
- 58. 3. 30 萩野映明会員「法話と座禅」
- 4. 6 ガバナー/ ミニー 中善寺登喜次氏「間取の遊び」
- 4. 13 入間RC 齊藤金作氏「中国事情と中国の情勢」
- 4. 27 加藤義雄会員 イニシエーションスピーチ  
鈴木昭平会員 //
- 5. 11 吉島第八分区代理「日高拡大にちなんで」  
新井特別代表 //  
井上拡大委員長 //  
大河原初代会長 //
- 5. 18 NHK 演出家 兼歳正英氏「大河ドラマ徳川家康」
- 6. 1 近藤和夫会員「3分間スピーチ」  
橋本 茂会員 //  
林 幸一会員 //  
吉島力良会員 //  
山崎一郎会員 //
- 6. 8 関口重夫先生「歌のレッスン」



交換学生  
ジェニー・ファンターさん 高橋真美さん

## 任期を終了して

第十九代会長 江 原 寿



友情の輪を拓けて行くロータリー、地域社会に密着したロータリー、この1年間会員と共に各行事を遂行して参りました。

幸い吉島分区代理、斉藤副会長、清水勇三幹事、細田吉春SAAをはじめ役員の絶大なる御指導と会員皆様の御協力を得、無事大任を果す事が出来ました事を厚く御礼申し上げます。

第19代会長就任に当り、本年度の三大事業であります。

- (1) 日高町クラブの結成は新井特別代表、井上拡大委員長の御骨折により、いよいよ本年7月5日創立総会を開会する事になりました。拡大委員の皆様今日迄の御努力に対して厚く御礼申し上げます。
- (2) IGFについては吉島分区代理、吉田富雄実行委員長の強力なる御指導、綿密なる御計画により、本年2月23日、清水バストガバナーをリーダーに飯能中央公民館に於いて分区内会員204名の参加のもと大成功の内に無事終了致しました。
- (3) 当クラブ創立20周年記念事業の準備については、荒井栄委員長のもとに基金準備に入り、これまた順調に経過して居り素晴らしい創立20周年記念行事が行われるものと確信して居ります。

然し乍ら今期事業遂行の為に行われた各座談会には、今迄にない高出席率を得た事はいかに会員のご協力の強さの証明であり、この事が年度最后迄続いた事で有ります。

昨年9月22日の公式訪問には62名の出席、10月2、3日川口市市民体育館年次大会には53名の出席又親睦委員会の新しい観劇会には、ご夫人を含めて100名の出席、クリスマス会、親睦旅行会にも多数の会員の参加を得ました。国際奉仕委員会では、フィリピン難民救済協力、又当クラブと姉妹クラブ韓国東清州クラブ元会長キントム氏の来日。社会奉仕委員会の運動公園へのベンチの寄贈、職業奉仕委員会の椿本、新電元、大正製薬各工場見学、又財団委員会では当クラブ初めての準フェロー18名の誕生、そして財団奨学生として、飯島京子さんの合格第15回地区交換学生として、高橋真美さんの応募、会員増強委員会の純増3名の増強、又プログラム委員会の充実した内容等各委員会活動も非常に活発に行われました。

然もこの活躍の影に、地区リーダー綿貫文夫バストガバナーのご逝去、当クラブ創立にご功勞のあった狭山クラブ清水逸平元特別代表のご逝去、又クラブ内に於いては、佐野卯三郎元会員、若月広道現会員、萩野会員の御母堂、細田徳二郎、吉春、伴次郎会員の御母堂の御逝去に対し、深く哀悼の意を表するもので御座います。

最後にロータリーは1つの家族であり、又奉仕する人々の集りであり、堅い友情の絆で結ばれて居ります。

今後の飯能クラブの益々のご発展を祈念申し上げますと共に、この1年間会員、事務局の御指導御協力に対し深く感謝申し上げ退任の御挨拶と致します。有難とう御座いました。

第20年度

1983.7 ~ 1984.6

(58.7 ~ 59.6)

HRC

役員構成

国際奉仕委員会	細田徳二郎	会長	竹田久治	理事	細田徳二郎
世界社会奉仕委員会	柴田千頭男	副会長	森和夫	〃	大野勝男
ロータリー財団委員会	五十嵐喜八郎	幹事	大久保一郎	〃	細田吉春
社会奉仕委員会	大野勝男	副幹事	大野康夫	〃	大木重雄
青少年委員会	大沢正敏	会計	関根克二	〃	橋本茂
環境保全委員会	柿沼良典	S A A	福田博栄	〃	江原寿
職業奉仕委員会 (健康管理)	細田吉春	副S A A	加藤栄	〃	斉藤文雄

入退会者

入会者 (8名)

五十嵐久四郎	58.8
大久保勝彦	58.8
八鍬幸彦	58.8
村野一男	58.9
青沼文夫	59.4
小林一	59.4
清水昭勇	59.5
田辺弥一	59.5

退会者 (5名)

小室敏一	58.11
近藤和夫	59.1
石井禱行	59.2
五十嵐一之	59.2
橋本義行	59.3

ロータリー情報委員会	江原寿
会員増強委員会	中里弘
職業分類委員会	山崎一郎
会員選考委員会	細田伴次郎
出席委員会	横手惣司
会報委員会	八鍬幸彦
雑誌委員会	田淵甲太郎
広報委員会	横田岩雄
特別代表	新井清平
拡大委員会	井上太平
創立20周年準備委員会	荒井栄



58. 7. 5 日高RC創立総会(高萩北公民館) 中善寺登喜次ガバナー



58. 7. 5

1983. 7 ~ 1984. 6

卓 話

- 58. 8. 3 石井道夫 会員「消化器病について」
- 8. 17 栃原智沼 飯能警察署長「交通事故の実態とその対策について」
- 8. 31 飯能市役所小久保文之氏「飯能市の区画整理事業について」
- 9. 7 山川秀男 会員「私の青春時代」
- 9. 14 埼玉県少年課 久保田茂氏「青少年の非行化の実態について」
- 9. 21 小沢孝公 氏「「搭乗員挽歌」
- 9. 28 エスターガホさん「フィリッピン」の心
- シスターフィレガスマリアさん「フィリッピン」の心
- 10. 5 立教女子短大教授 秋吉輝雄氏「イスラエル人の心」
- 10. 12 吉島力良 会員「職業奉仕月間にちなんで」
- 10. 19 言論科学研究所長 江木武彦氏「ヨーロッパから帰って」
- 11. 2 松田丑二 先生「源氏物語の研究」
- 11. 9 丸田操 先生「ロータリー財団月間にちなんで」
- 11. 16 石井禰行 会員「リースについて」
- 江原 寿 会員「アフリカ旅行をして」
- 11. 30 聖望学園留学生 キシマニ・ヘラットさん クレマス・キ・ファビアン君
- 12. 14 桂歌はち さん「芸道苦心談」
- 59. 1. 4 市川宗貞 飯能市長「年頭の挨拶」
- 浅見寅雄 名栗村長「新年の挨拶」
- 1. 11 埼玉銀行調査部長 佐々木皓二氏「59年経済見通しについて」
- 1. 25 桜川善平 氏「大鼓もちあれこれ」
- 2. 1 吉村明代 氏「朗読奉仕」
- 坂根耀子 さん「朗読奉仕」
- 2. 8 藤井 浩 氏「ブラジルの七年」
- 2. 15 慶応大学教授 寺尾 誠 氏「今日の世界」
- 2. 22 ハストガバナー 相原茂吉 氏「創立記念日にちなんで」
- 3. 14 八鍬幸彦 会員「腰痛について」
- 3. 21 萩野映明 会員「法話」
- 3. 28 野村知治 氏「防衛こぼればなし」
- 4. 11 元統幕議長 竹田五郎 氏「防衛に関する二つのうそ」



58.10.26 韓国東清州RCの  
お客様をお招きしての観月会

- 59. 4 .25 飯能図書館長 赤田健一氏「雑誌週間にちなんで」
- 5 . 2 加藤 栄会員「タバコ健康への影響」スライド
- 5 . 9 関東百貨店厚生年金基金常務理事 町田 洋氏  
「年金制度について」
- 5 .16 三笑亭笑三師匠「落語」
- 5 .23 福島弥門治所沢税務署長「税について考える」
- 5 .30 木崎和二郎氏「姓について」
- 6 . 6 柴田千頭男会員「ネパールに嫁いだ日本のママ」  
16ミリ上映



59. 5 .16 夜間例会（雨だれ荘）  
三笑亭笑三師匠をお招きして



59. 6 .28 夜間例会（雨だれ荘）

## 任期を終了して

第二十代会長 竹田久治



RI会長ウィリアム・E・スケルトン氏のメッセージ「みんなにロータリーを…みんなに奉仕を」の達成に森副会長、大久保幹事、福田SAAさん並びに役員各位のご協力と会員皆様のご支援により努めた1年間でありました。皆様方の友情に心より感謝申し上げます。さて、本年度大きな事業であります

- (1) 日高RCの創立総会と認証状伝達式は、新井特別代表、井上拡大委員長を中心に会員ご家族のご協力により盛大な式典が行われ、スポンサークラブとしての大役とその責任を果すことができました。20周年記念事業の基金も皆様のご協力により順調に経過しております。又、第257地区大会にはコホストクラブとして、全会員並びに家族参加のロータリーを実現することが出来ました。
- (2) 青少年交換学生については高橋真美君を3月25日カナダウォータータウンRCへ派遣し受入交換学生にはオーストラリアよりジェニー・ハンター君を迎い入れ、江原カウンセラーを中心にホストファミリーの皆様にお骨折りを頂いているところでございます。
- (3) 国際奉仕委員会では10月26日姉妹クラブ東清州RC代表5名を観月会に招き、2月6日には第982地区青少年交換委員のポップ・レスレーン夫妻を歓迎し、国際親善とその交友を一層深めて参りました。世界社会奉仕については、国際里親運動への参加と、るつ記記念基金への協力、又、外国人講師と留学生の卓話により国際理解を一層深めることが出来ました。ロータリー財団については、2名のポールハリスフェローと7名の準フェローの誕生により、財団への貢献度を大巾に増すことが出来ました。財団奨学生に合格した飯島京子君が一身上の都合でのご辞退は誠に残念でなりません。社会奉仕委員会では、交通標識カーブミラーの寄贈と青少年委員会では、ライラ（青少年指導者養成プログラム）へ2名の派遣と新聞少年の表彰等、職業奉仕委員会では、日日自訓（ポスター）の配付、クラブ奉仕関係では会員増強委員会による純増3名の増強、又プログラム委員会の充実した内容と親睦活動委員会による活発な親睦行事は、クラブの活性化に果たした役割は大であります。然し、この活躍の影に地区リーダー高橋理平PG、斉藤裕一第8分区元代理の御逝去、又クラブ内に於てはパスト会長小室敏一会員の御逝去と大野康夫会員の御母堂、大浦邦雄会員令夫人の御逝去に対し、深く哀悼の意を表するものでございます。

さて、本年度は歴代会長の残された輝かしい実績と会員各位のご協力により地区協議会において、RI会長賞並びに地区感謝状を受賞の栄に浴しました、当クラブとして、この上もない名誉と当年度にその機会を得ました事に深く感謝申し上げる次第でございます。

終りに臨み、飯能ロータリークラブ益々のご発展とこの一年間ご指導とご協力賜りました会員の皆様と事務局員の方々に対し心より御礼を申し上げ退任のご挨拶といたします。

以上

第21年度

1984.7 ~ 1985.6

(59.7 ~ 60.6)

HRC

役員構成

国際奉仕委員会	石井照雄	会長	斉藤文雄	理事	石井照雄
世界社会奉仕委員会	大野勝男	副会長	清水栄次	〃	大浦邦雄
ロータリー財団委員会	吉田武義	幹事	大野康夫	〃	小川定
米山奨学委員会	大久保一郎	副幹事	細田吉春	〃	萩野映明
社会奉仕委員会	大浦邦雄	会計	南方皓	〃	横田岩雄
青少年委員会	関谷昭	S A A	加藤栄	直前会長	竹田久治
環境保全委員会	石井道夫	副S A A	中里弘	会長エレクト	森和夫

入退会者

職業奉仕委員会	小川定	入会者(4名)	岡村政一 59.7	退会者(1名)	関根克二 59.7
クラブ奉仕委員会	清水栄次		南方皓 59.7		
プログラム委員会	萩野映明		藍原寧 59.12		
			宿谷文平 60.5		
親睦活動委員会	横田岩雄				
ロータリー情報委員会	竹田久治				
会員増強委員会	田淵甲太郎				
職業分類委員会	関口久夫				
会員選考委員会	市野四一				
出席委員会	柿沼良典				
会報委員会	沢辺澗彦				
雑誌委員会	大木道太郎				
広報委員会	細田伴次郎				
創立20周年実行委員会	荒井栄				

1984. 7 ~ 1985. 6

卓 話

59. 8. 1 大久保勝彦会員「戦後の茶の変遷」  
五十嵐久四郎会員「私の青春時代」
8. 15 飯能市文化財審議委員 岡野達雄氏「中世の飯能」
8. 22 飯能青年会議所理事長 小久保勝弘氏  
「J Cの活動について」
8. 29 報知新聞激ベン記者 白取 晋氏  
「巨人よ、しっかりしろ」
9. 5 村野一男会員「私の少年時代」
9. 12 保護司 志茂 等氏「保護司から見た青少年問題」
9. 26 テレビ朝日元プロデューサー 今野健一氏  
「テレビ番組の舞台裏」
10. 3 城西歯科大学大学院研究生 曾 栄裕氏  
「私の目から見た日本」
10. 17 飯能警察署長 高橋清之氏「着任にあたって」
10. 24 新井清平バスト会長「職業奉仕月間にちなんで」  
荒井 栄 “ ”  
井上太平 “ ”
10. 31 青梅成木台病院長 川尻 徹先生  
「真珠湾攻撃は日米の約束ごと？」
11. 7 青沼文夫会員「金の話」
11. 21 清水達也バストガバナー「ロータリー財団月間にちなんで」
12. 12 プロゴルファー 新井規矩雄氏「ゴルフ談義」
60. 1. 9 市川宗貞 飯能市長「年頭の挨拶」  
田地幸助 名栗村助役「年頭の挨拶」
1. 16 市 野 四 一会員「丑年生れの会員卓話」  
五十嵐 久四郎会員 “ ”  
大 木 重 雄会員 “ ”  
青 沼 文 夫会員 “ ”  
細 田 伴次郎会員 “ ”
2. 13 コロンブス・キャピタル大学国際教育学科主事 ハフ  
マン夫人「今日のアメリカの大学生たち」
3. 20 子の権限・天童寺住職・楠笛亮映氏「彼岸法話」
3. 27 ウォルター・ベナー氏「スライド」
4. 17 陸上自衛隊第31普通科連隊長 諸方 宏氏





59.12.21  
クリスマス会（丸広食堂）

- 「国際軍事情勢と日本の防衛」
- 4.24 日本詩人クラブ会員 町田多加次氏「詩人あれこれ」
- 5.1 清水昭勇会員「イニシエーションスピーチ」
- 岡村政一会員
- 5.8 田辺弥一会員「漢方から見た人間の一生」
- 5.15 西武不動産計画部計画一課 里見正道氏
- 「飯能における西武の開発計画」
- 5.22 元金沢国税局長 島田種次氏「税務調査について」
- 5.24 元三越社長 岡田 茂氏「経済講話」
- 6.12 作家 小池一夫氏「私とマンガ学校」



## 任期を終了して

第21代会長 齊藤文雄



本年は飯能ロータリークラブが文字通り、成人になった記念すべき年だったと思います。清水副会長、大野康夫幹事、加藤栄S A A、並びに役員各位の御指導と会員皆様の家族あがての御協力に対し心から厚く御礼申し上げます。特に20周年実行委員会の役員はクラブをここまで育ててくれた全パスト会長に御活躍いただきました。

R I 会長は「奉仕の新生面を」と呼びかけられましたが、当クラブも飯能流の「物の奉仕から心の奉仕」をめざして参りました。

地域社会に大変な影響力のあるロータリアンがクラブの中で磨かれれば、その波及効果は大きなものになるだろう。そんな事を考えながらクラブの運営を考えて参りました。例会での質問の時間には会員の業界の情報を教えていただきました。

ならず者部隊と云う事でスタートさせていただきましたが、私を除いては大変な精鋭で各委員会が見事な業績を残されました。

創立20周年記念式典では、全パスト全長がその実力をいかんなく発揮され爆発的に家族ぐるみで成功させていただきました。満開の桜も祝福してくれました。

国際奉仕委員会では米山委員会の創設、韓国東清洲R C との相互訪問、アメリカブレアR C との交流、江原カウンセラーによる交換学生のダブルヘッダー（R I 財団の高橋真実さんと地区のジェニー・ハンターさん）等々、一年中もりだくさんな行事のオンパレードでした。

社会奉仕委員会では、市民への心の奉仕「秋山ちえ子講演会」等の行事

職業奉仕委員会では、N T T の新技術の見学等

クラブ奉仕委員会では、

○プログラムでの早朝例会やもりだくさんな卓話

○親睦での燈台下（都内）旅行等の新企画。

その他たくさん業績がありますが詳細は年次報告書でお伝えします。

退会者もなく45名の100%出席者の結果をみてホッと胸をなでおろして居ります。

ここで頭にある私の夢を申し上げます。

1. 飯能だけの財団（あるP G のヒントから）が作れたら。

2. クラブ会館が作れたら（せめて事務所でも）

終りに、陰の力になって支えていただいた事務局に対し深く感謝申し上げます。

以上、一年間御迷惑をおかけした事をお詫び致し当クラブのますますの発展をお祈り申し上げ退任の挨拶と致します。

## 物故会員の冥福を祈って……

創立以来20年の間に逝かれた同志は21名になりました。亡くなられた会員のありし日の温顔を掲げて、友愛の思いを新たにするとともに、心から冥福をお祈りいたします。

## 故 川 崎 一 郎氏



大正4年5月8日生  
昭和46年3月入会  
職業分類 肥料卸売  
昭和56年3月6日御逝去

川崎さんは帽子が好きであった。帽子をちょっと斜めにかぶって粋な服装をしたお姿が忘れられない。クラブ内では「万年青年」として親しまれていた。  
趣味は旅行と酒。

## 故 佐 野 卯三郎氏



明治36年1月25日生  
昭和45年8月入会  
職業分類 信用金庫  
昭和57年12月31日御逝去

佐野さんは温厚な方であった。少しも偉ぶったところがなかった。御家族の話によると家庭内では結構癩癩を破裂させていたとか。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」「人に対して嘘を言うな」「質素儉約」をモットーにされていたということを御家族からお聞きしたが、御家族の故人をしのぶ言葉には敬慕の想いがあふれていた。

## 故 若 月 廣 道氏

大正7年12月1日生  
昭和56年2月入会  
職業分類 生糸製造  
昭和58年5月18日御逝去



山梨県西源寺の出で戦時中は中隊長として中支、南方で活躍。部下想いの隊長として部下から慕われ、一周忌には是非出席させてほしいという部下の人数が多すぎて人選にまよったということである。その一事だけでも若月さんの人柄が偲ばれる。

若月さんは謡曲、バイオリン、スポーツ全般に堪能だったばかりでなく詩吟もよくなされた。好んで吟じられた漢詩は新島襄作「寒梅」であったという。春にさきかけて静かに咲く寒梅はまさに若月さんの姿勢そのままではなかったか。

## 故 小 室 敏 一氏

明治40年12月23日生  
昭和41年9月入会  
職業分類 外科医  
昭和58年11月2日御逝去



酒の飲めない者は酒席で酒飲みと同席するとき「好い酒飲み」のそばに行きたがる。「好い酒飲み」の典型が小室先生であった。小室先生の側にいると酒の飲めない者でも酒席が楽しかった。自分が好い気持になるばかりでなくそばに居る人も好い気持にさせてくれる酒飲みが「好い酒飲み」なのである。

クリスマスパーティでダンスを踊っておられたお姿が目につく。ダンスはあまりお上手ではなかったがそれがまたよかった。

先生は当クラブの荒井会員、吉島会員、溝口会員たちと謡曲を習われていた。また墨絵もよくなされ、幅広い趣味をお持ちであった。



写真右 佐藤喜久江さん

新井清平会長年度に入局され今や飯能ロータリークラブの生き字引であり、まさにクラブの女房役である。飯能ロータリークラブの活動は彼女の内助の功によるところが大きい。

写真左 山岸多加子さん

曾根年度に入局され主として会報の仕事をしてもらっている。飯能ロータリークラブの会報は要領よくまとまっており、たびたび表彰を受けているが、その理由は会報委員の活動もさることながら山岸さんの力量にもよる。

### 事務局の横顔

ロータリークラブは男世帯である。ロータリークラブに女性を入会させたらという意見や希望はあったようであるが実現はしていない。

男だけの殺風景な飯能ロータリークラブにアクセントを添えているのが、事務局の二名の女性である。

例会場に二人の女性がいるということがどれだけ例会場の雰囲気をもたげていることか。

飯能ロータリークラブが和やかにまとまっているのは、この二人の女性に負うところが大きいかもしれぬ。

御二人にはいつまでも飯能ロータリークラブにいてほしいと思う。

## 編集後記

人は生きている。生きているということは生きてきたということでもある。  
生きてきた足跡が歴史だろう。とすれば歴史は過去のことであっても過去そのものではなく現在につながっていると見える。

歴史をふりかえることは、それ故、生きていることをあらためて思い出すことである。

このことは人についてだけでなくグループについても云えると思う。今ここに飯能ロータリークラブ20年誌を発行することが飯能ロータリークラブの現在のあり方を見直し将来を考える上での一つの指針となることを編集委員一同こいねがうものである。

昭和62年6月

### 飯能ロータリークラブ20年誌編集委員会

委員長	森	和夫
委員	加藤	栄
〃	田	渕 甲太郎
〃	岡	村 政一
〃	清	水 栄次
〃	沢	辺 静 壺
〃	松	下 克己

発行がおくれて皆様に御迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び致します。

昭和62年6月20日印刷

昭和62年6月30日発行

発行所 飯能ロータリークラブ

埼玉県飯能市本町1番7号

飯能商工会議所内

印刷所 株式会社 田中一誠堂印刷部

埼玉県飯能市仲町21番22号



●飯能ロータリークラブ年表

西 暦	1964.7~1965.6	1965.7~1966.6	1966.7~1967.6	1967.7~1968.6	1968.7~1969.6	1969.7~1970.6	1970.7~1971.6	1971.7~1972.6	1972.7~1973.6	1973.7~1974.6	1974.7~1975.6	
年 号	29.7 ~ 40.6	40.7 ~ 41.6	41.7 ~ 42.6	42.7 ~ 43.6	43.7 ~ 44.6	44.7 ~ 45.6	45.7 ~ 46.6	46.7 ~ 47.6	47.7 ~ 48.6	48.7 ~ 49.6	49.7 ~ 50.6	
月 日	7.9.22 9.11.9 11.11.10 11.12.12 2.24.24 3.3.7	7.7.14 7.28.14 1.1.23 2.9.9 6.6.8 6.17.17 6.27.27	7.7.6 7.20.20 8.8.11 10.10.11 11.11.24 1.1.25 2.2.28 2.6.16	7.7.5 9.9.13 10.10.22 11.11.15 12.12.11 2.2.27 6.6.14	7.7.3 8.8.7 10.10.9 10.10.19 10.10.20 1.1.27 2.2.19 6.6.4	7.7.23 8.8.28 10.10.11 10.10.22 1.1.22 2.2.11 6.6.24	7.7.23 8.8.28 10.10.11 10.10.22 1.1.22 2.2.11 6.6.24	8.8.19 9.9.17 10.10.14 10.10.20 1.1.20 2.2.5 3.3.13 6.6.23	9.9.21 10.10.6 10.10.20 12.12.8 2.2.18 3.3.26 4.4.25 6.6.19	8.8.16 9.9.15 9.9.20 1.1.26 1.6.13 6.6.17	7.7.25 8.8.18 2.2.13 3.3.2 3.3.6 6.6.9	7.7.3 9.9.16 11.11.27 12.12.10 2.2.21 2.3.20 4.4.16 6.6.18 6.6.19
概況	飯能ロータリークラブ年表 ガバナー公式訪問 及び工場見学(飯能繊維工業) 国際ロータリー加盟送承状伝達式(飯能市公会堂) チャーター伝達式案内就発 クラブ協議会 国際ロータリー加盟承認 第358地区年次大会に参加(ホテル・オートクニ) クラブ創立総会 36名にてスタート	ガバナー公式訪問 第358地区協議会参加(ホテル・ホテル) 閣下、新田会長、幹事会出席(埼玉会館) ガバナー公式訪問 ノーネクタイ・サンダル履に100円助金を決定 インターアクト地区大会参加(浦和) 年末訪け合い寄附金贈呈 ホーイスカウト大会に助成金贈呈 クラブ協議会	あり クラブ協議会、次年度より第358地区を2地区に分割の通告 創立より100回例会 第358地区協議会参加(ホテル・ホテル) 創立以来初めての100%出席を記録 第4分区分区ICGFに参加(入間RC) 定款改正、名簿付加入 西武地区ゴルフ大会、自クラブが団体優勝 ガバナー公式訪問 大久保三男会長退去、退会	第357地区協議会参加(東京アリンヌ・ホテル) ICGFに参加(所沢RC) 国際親善のため招待 飯能・入間・狭山RC合同でジョンソン基地にて、昇人夫人を 埼玉国体開会式に会長出席 ガバナー公式訪問 敬老の日のお祝い 埼玉銀行に移す(1500例会) 第357地区(埼玉単・千葉単)新発足、例会場を産工会館から 第357地区年次大会(川越RC)	青少年不慮化防止のための悪書追放箱を市内各駅に設置 ガバナー公式訪問 ロータリー財団委員新設、ロータリー会費3ドルから4ドルに 第357地区協議会参加(東京アリンヌ・ホテル) ICGFに参加(東松山RC) 創立5周年誌編集委員会開催 新聞少年に慰労品を贈呈(121名) ICGFに参加(入間RC) 創立5周年誌編集委員会開催	国際RI会長夫妻の歓迎会に会長・幹事出席 創立5周年記念式典 新聞少年に慰労品を贈呈(121名) ICGFに参加(入間RC) 創立5周年誌編集委員会開催 新聞少年に慰労品を贈呈(121名) ICGFに参加(入間RC) 創立5周年誌編集委員会開催	小川泰君退去、退会 シドニー国際大会に参加(3名) ICGFに参加(狭山RC) 土肥無二三会員退去 第1回優良従業員表彰 姉妹クラブのニュー清州RC訪問(25名) ガバナー公式訪問 韓国ニュー清州RCと姉妹クラブ締結 佐野方次郎会員退去、退会 毛呂・越生RC認定式に全員参加 ガバナー公式訪問 ICGF(飯能RC)	親睦旅行、名古屋RC訪問(下呂温泉) アリダストン工場見学 第357・358地区連合年次大会 ICGFに参加(所沢RC) 飯能・入間・狭山RC合同例会 新聞少年表彰 ガバナー公式訪問 親睦旅行、夜の東京見物 西武地区ゴルフ大会団体優勝	ローザンヌ国際大会に出席(3名) ICGFホスト(飯能RC) 小林貞治会員退去、退会 第8分区分区合同例会(飯能RC) 老人ホームへ医療ベッド贈呈 ガバナー公式訪問 親睦旅行、名古屋RC訪問(下呂温泉) アリダストン工場見学 第357・358地区連合年次大会 ICGFに参加(所沢RC) 飯能・入間・狭山RC合同例会 新聞少年表彰 ガバナー公式訪問	ミネアポリス国際大会に出席(5名) 例会場でエレクティオン初演奏 ICGFに参加(狭山RC) 丸広よりエレクティオンの寄贈 部門別協議会(飯能RC) ガバナー公式訪問 石井康・武居、小室会員ボール・ハリス・フェリーの表彰する 会員分納決まる(7・10・4・6月の4回)	親睦旅行(湖米・成田空港) 観覧会、横田基地の未入2家族を迎えて(飯山荘) ICGFに参加(入間RC) 創立10周年史発行 部門別協議会参加(入間RC) 石井康四郎会員退去、退会 「職業奉仕」についてのテーマで繁田正一バスターガバナーの卓話 ガバナー公式訪問、10周年記念式典 (1ドル換算300円) 石井康・武居、小室会員ボール・ハリス・フェリーの表彰する 会員分納決まる(7・10・4・6月の4回)	
同時期の主要事項	東京国際空港公団法公布 愛知県大山市に明治村開村 チャールズ・W・ベック死去 東京オリンピック大会開催 トンキン湾事件	米・ジュネビニ8号上げ、初のドッキング 全日空機羽田沖に墜落等死亡133名 朝永振一郎氏にノーベル賞決定 1970年万国博大阪に決定	中国初の水陸空軍に成功 都知事選で美濃部亮吉氏当選 第2次佐藤内閣成立 行を止めるとして動議化 鹿嶋清十郎運輸相が選挙区の議員職に意 成田市三里塚に決定 閣議、新東京国際空港の建設地を千葉県	戦犯発表 ボリビア・ゲリラ闘争で、チエ・ゲバラ ニニパーシアード東京大会開催	ベトナム平和パリ会議開催 川崎康成氏にノーベル賞決定 を行なう 札幌医大和田教授日本初の心臓移植手術 米大統領選、ニクソン当選 東名高速道路開通 米大統領選、ニクソン当選	スカルノ前インドネシア大統領死去 ベルギー大震災死者、行方不明7万人 よど号赤軍派ハイジャック 日本万国博開催 ホーチミン北ベトナム大統領死去 未アボロー1号月面、静かの海に着陸 東名高速道路開通	連続女性誘拐殺人の大久保清逮捕 第一、動員合併、第一動員となる 三島由紀夫氏結婚の会会員自殺 ドゴール前仏大統領死去 ナセル・アラブ連合大統領死去 藪心で「愛行者天国」スタート	川崎康成氏ガス自殺 高松塚古墳発見 連合赤軍浅間山荘にて銃撃乱射 グアム島の密林で横井庄一発見 田中首相訪中 ニクソン大統領ベトナム戦争終結宣言 グアム島の密林で横井庄一発見 田中首相訪中 ニクソン大統領ベトナム戦争終結宣言	丸の内三重要工ビル爆破事件 ルパン島で小野田寛郎30年ぶり救出 バーバニック騒ぎ トイレットペーパー、洗剤、砂糖のべ 供給削減を通知 国際石油資本5社日本に約10%の原油 不明 金大中氏東京のホテルより連行され行方	佐藤栄作元首相死去 サウジアラビアのファイサル国王暗殺さ る 狂乱物騒加速 三木内閣成立 佐藤栄作前首相ノーベル賞受賞		
会 長	平 岡 文 夫	小 林 貞 治	坂 木 昭之助	新 井 清 平	小 川 泰 夫	土 肥 無二三	石 井 尊四郎	梨 木 三 六	武 居 藤 吉	中 里 逸 夫	荒 井 栄 一	
副会長・幹事	坂 木 昭之助・齊 藤 承 吉	新 井 清 平・浅 見 満 次 郎	小 川 泰 夫・吉 島 力 良	土 肥 無二三・小 川 福 次 郎	石 井 尊四郎・荒 井 栄 一	梨 木 三 六・井 上 太 平	武 居 藤 吉・武 田 正 章	中 里 逸 夫・溝 口 卓 男	小 川 福 次 郎・江 原 寿 一	吉 島 力 良・曾 根 丈 治 良	井 上 太 平・細 田 徳 二 郎	
ガバナー	神 守 源 一 郎	竹 田 恒 徳	松 方 三 郎	川 名 正 寿	広 沢 輝 雄	森 田 勝 彦	河 野 秀 夫	青 山 幸 高	中 田 利 一	繁 田 正 一	渡 辺 道 夫	
ターゲット RI会長	ロータリーに生きよう チャールズ・W・ベック・テンギル	行動、強化、継続性 C.P.H. ティーンストラ	ロータリーでよりよい世界を リチャード・E・エバンス	ロータリアンとしてあなたの資力を 効果的に フレーザー・H・ホッ	参加し敢行しよう 東ヶ崎 潤	再検討し、刷新しよう ジュームス・P・コンウェイ	隔りを取り除こう ウィリアム・R・ウォークト	善意は先ずあなたから アントス・G・ブライツホルツ	もう一度見直そう ロイ・W・ビックマン	命こそ行動のとき ウィリアム・C・カーター	ロータリーの精神を振るい起こせ ウィリアム・R・ロビンズ	

1975.7～1976.6	1976.7～1977.6	1977.7～1978.6	1978.7～1979.6	1979.7～1980.6
50.7～51.6	51.7～52.6	52.7～53.6	53.7～54.6	54.7～55.6
7.1 8.20 9.11 11.8 12.7 12.17 12.24 1.22 2.18 2.25 3.10 3.11 4.21 6.9 6.10 6.30	7.7 8.1 9.8 9.29 11.10 12.22 12.29 2.16 2.22 3.9 3.20 3.23 6.22 6.23 6.29	7.6 9.7 10.12 10.26 11.16 12.7 12.14 12.21 2.4 2.22 3.1 3.10 3.10 5.14 5.14 6.21 6.22 6.29	7.5 7.29 8.30 9.7 9.14 9.27 10.3 10.7 10.8 11.29 12.20 1.3 1.9 1.13 1.24 2.16 4.4 4.11 5.11 5.16 6.6 6.13 6.14	7.4 8.22 8.29 9.8 9.14 9.15 9.19 10.3 11.3 11.14 11.24 12.26 1.16 2.13 2.23 3.18 4.9 4.23 6.11 6.15 6.18 6.19 6.25
<p>親睦旅行会(伊東温泉・武田温泉)</p> <p>グレートホール大会に優勝メダルを贈呈</p> <p>吉島、英井会員ポール・ハリス・フェネローに「人間とはどういふものか」のテーマで作家の藤原審爾氏の卓話</p> <p>観覧会、夜間例会(能仁寺)</p> <p>I C G F開催(秩父RC・秩父市民会館)</p> <p>ロケットリ創立75周年記念統一例会(岩清水)</p> <p>本山委員会米山發学委員会に名称変更する</p> <p>バスセブション開催</p> <p>地域社会のニーズをつかむにはのテーマで、当クラブ内初のクリスマス会、優良従業員表彰(丸広)</p> <p>ポール・ハリス・フェネローの表彰を受く</p> <p>257地区年次大会参加、当大会に於て佐野壽、川崎会員がポの賞状をみることを話す</p> <p>の灯、人工の灯、心の灯とし、灯とは視度であり視度とは、ものがパナロー公式訪問、横貫文夫ガバナリー「奉仕の灯」灯とは自然名葉村に贈呈</p> <p>創立15周年記念事業の一環として、寄附金を飯能市、百高町創立15周年記念式典、観月会(丸広)</p> <p>アジア地域大会参加(韓国ソウル)12名参加</p> <p>越前竹人形の公演と水上純氏講演会にJICに協力(中央公民館)</p> <p>青少年夏休み制作展開催</p> <p>市民憲章推進協議会設立準備会に会長出席</p> <p>『文学と飯能の風土』と題して飯能在住作家村木村治氏の卓話</p> <p>第16期クラブ協議会、65名にてスタート</p>	<p>親睦旅行会(京都)</p> <p>親睦旅行会(伊東大和館)</p> <p>ロケットリ世界大会開催(東京・武道館)</p> <p>日本経済の動向と題して香藤栄三郎氏卓話</p> <p>東京見学会</p> <p>比留間清治郎会員退去</p> <p>当クラブホストによるICGF開催(中央公民館)</p> <p>クリスマス会及び優良従業員表彰(丸広)</p> <p>中間進会員退去</p> <p>オーストラリアからビッキー・ヒーター氏を受入れ</p> <p>藤岡・平沼・川崎・竹田会員宅</p> <p>交換学生受入家庭第一回研修会、受入家庭は清水衛・新地・齊を結ぶ、友人を作る場である、ことを強調</p> <p>ガバナリー公式訪問、相原ガバナリー「ロケットリは人と人との心を通う子さん交換学生として紹介、3・29オーストラリアへ北海道有珠山噴火による災害に対する義援金を送る</p> <p>観月会(雨だれ荘)</p> <p>第14期クラブ協議会、67名にてスタート</p> <p>クラブ協議会</p> <p>親睦旅行会(ホテル、ニュー温泉)</p> <p>本クラブ内職業紹介パサール開催(中央公民館)</p> <p>地区大会参加 19</p> <p>I C G F(所沢RC)出席</p> <p>「北極12000キロの旅」植村直己氏卓話</p> <p>接識会員退去</p> <p>クリスマス会及び優良従業員表彰(丸広)</p> <p>奉仕(サービス)である、ことを強調</p> <p>ガバナリー公式訪問、山口アキティンクガバナリー「ロケットリは異郷放浪と題して比留間会員ニニクに卓話</p> <p>月見の会(雨だれ荘)</p> <p>卓話</p> <p>防災の日になんで、荒井・江沢会員による関東大震災体験談</p> <p>第1回職業連絡協議会開催(浦和日刊工業会館)</p> <p>第13期クラブ協議会、70名にてスタート</p> <p>クラブ協議会</p> <p>親睦旅行会(京都)</p> <p>横田基地見学会</p> <p>I C G F(入間RC)出席</p> <p>平沼保夫会員ポール・ハリス・フェネローに</p> <p>中里進会員ポール・ハリス・フェネローに</p> <p>入間RCをスポンサークラブとしてから600回目の例会</p> <p>夫人共78名参加</p> <p>観覧会(上野給水園)、「夕食会(上野ホテル市松)</p> <p>忘年祝賀会、クリスマス会(丸広)及び優良従業員表彰</p> <p>中里進会員の起案で油絵同好会発足</p> <p>金子会員退去</p> <p>前島、加藤議員ポール・ハリス・フェネロー</p> <p>観月会(丸広)「アトラクションを各駅に贈呈</p> <p>の方針を指摘</p> <p>ガバナリー公式訪問、山口大ガバナリー「理論じやない上行動だよ」第18期クラブ協議会開催60名にてスタート</p>	<p>クラブ協議会</p> <p>親睦旅行会(伊東大和館)</p> <p>ロケットリ世界大会開催(東京・武道館)</p> <p>日本経済の動向と題して香藤栄三郎氏卓話</p> <p>東京見学会</p> <p>比留間清治郎会員退去</p> <p>当クラブホストによるICGF開催(中央公民館)</p> <p>クリスマス会及び優良従業員表彰(丸広)</p> <p>中間進会員退去</p> <p>オーストラリアからビッキー・ヒーター氏を受入れ</p> <p>藤岡・平沼・川崎・竹田会員宅</p> <p>交換学生受入家庭第一回研修会、受入家庭は清水衛・新地・齊を結ぶ、友人を作る場である、ことを強調</p> <p>ガバナリー公式訪問、相原ガバナリー「ロケットリは人と人との心を通う子さん交換学生として紹介、3・29オーストラリアへ北海道有珠山噴火による災害に対する義援金を送る</p> <p>観月会(雨だれ荘)</p> <p>第14期クラブ協議会、67名にてスタート</p> <p>クラブ協議会</p> <p>親睦旅行会(ホテル、ニュー温泉)</p> <p>本クラブ内職業紹介パサール開催(中央公民館)</p> <p>地区大会参加 19</p> <p>I C G F(所沢RC)出席</p> <p>「北極12000キロの旅」植村直己氏卓話</p> <p>接識会員退去</p> <p>クリスマス会及び優良従業員表彰(丸広)</p> <p>奉仕(サービス)である、ことを強調</p> <p>ガバナリー公式訪問、山口アキティンクガバナリー「ロケットリは異郷放浪と題して比留間会員ニニクに卓話</p> <p>月見の会(雨だれ荘)</p> <p>卓話</p> <p>防災の日になんで、荒井・江沢会員による関東大震災体験談</p> <p>第1回職業連絡協議会開催(浦和日刊工業会館)</p> <p>第13期クラブ協議会、70名にてスタート</p> <p>クラブ協議会</p> <p>親睦旅行会(京都)</p> <p>横田基地見学会</p> <p>I C G F(入間RC)出席</p> <p>平沼保夫会員ポール・ハリス・フェネローに</p> <p>中里進会員ポール・ハリス・フェネローに</p> <p>入間RCをスポンサークラブとしてから600回目の例会</p> <p>夫人共78名参加</p> <p>観覧会(上野給水園)、「夕食会(上野ホテル市松)</p> <p>忘年祝賀会、クリスマス会(丸広)及び優良従業員表彰</p> <p>中里進会員の起案で油絵同好会発足</p> <p>金子会員退去</p> <p>前島、加藤議員ポール・ハリス・フェネロー</p> <p>観月会(丸広)「アトラクションを各駅に贈呈</p> <p>の方針を指摘</p> <p>ガバナリー公式訪問、山口大ガバナリー「理論じやない上行動だよ」第18期クラブ協議会開催60名にてスタート</p>	<p>親睦旅行会(伊東温泉・武田温泉)</p> <p>グレートホール大会に優勝メダルを贈呈</p> <p>吉島、英井会員ポール・ハリス・フェネローに「人間とはどういふものか」のテーマで作家の藤原審爾氏の卓話</p> <p>観覧会、夜間例会(能仁寺)</p> <p>I C G F開催(秩父RC・秩父市民会館)</p> <p>ロケットリ創立75周年記念統一例会(岩清水)</p> <p>本山委員会米山發学委員会に名称変更する</p> <p>バスセブション開催</p> <p>地域社会のニーズをつかむにはのテーマで、当クラブ内初のクリスマス会、優良従業員表彰(丸広)</p> <p>ポール・ハリス・フェネローの表彰を受く</p> <p>257地区年次大会参加、当大会に於て佐野壽、川崎会員がポの賞状をみることを話す</p> <p>の灯、人工の灯、心の灯とし、灯とは視度であり視度とは、ものがパナロー公式訪問、横貫文夫ガバナリー「奉仕の灯」灯とは自然名葉村に贈呈</p> <p>創立15周年記念事業の一環として、寄附金を飯能市、百高町創立15周年記念式典、観月会(丸広)</p> <p>アジア地域大会参加(韓国ソウル)12名参加</p> <p>越前竹人形の公演と水上純氏講演会にJICに協力(中央公民館)</p> <p>青少年夏休み制作展開催</p> <p>市民憲章推進協議会設立準備会に会長出席</p> <p>『文学と飯能の風土』と題して飯能在住作家村木村治氏の卓話</p> <p>第16期クラブ協議会、65名にてスタート</p>	<p>親睦旅行会(京都)</p> <p>親睦旅行会(伊東大和館)</p> <p>ロケットリ世界大会開催(東京・武道館)</p> <p>日本経済の動向と題して香藤栄三郎氏卓話</p> <p>東京見学会</p> <p>比留間清治郎会員退去</p> <p>当クラブホストによるICGF開催(中央公民館)</p> <p>クリスマス会及び優良従業員表彰(丸広)</p> <p>中間進会員退去</p> <p>オーストラリアからビッキー・ヒーター氏を受入れ</p> <p>藤岡・平沼・川崎・竹田会員宅</p> <p>交換学生受入家庭第一回研修会、受入家庭は清水衛・新地・齊を結ぶ、友人を作る場である、ことを強調</p> <p>ガバナリー公式訪問、相原ガバナリー「ロケットリは人と人との心を通う子さん交換学生として紹介、3・29オーストラリアへ北海道有珠山噴火による災害に対する義援金を送る</p> <p>観月会(雨だれ荘)</p> <p>第14期クラブ協議会、67名にてスタート</p> <p>クラブ協議会</p> <p>親睦旅行会(ホテル、ニュー温泉)</p> <p>本クラブ内職業紹介パサール開催(中央公民館)</p> <p>地区大会参加 19</p> <p>I C G F(所沢RC)出席</p> <p>「北極12000キロの旅」植村直己氏卓話</p> <p>接識会員退去</p> <p>クリスマス会及び優良従業員表彰(丸広)</p> <p>奉仕(サービス)である、ことを強調</p> <p>ガバナリー公式訪問、山口アキティンクガバナリー「ロケットリは異郷放浪と題して比留間会員ニニクに卓話</p> <p>月見の会(雨だれ荘)</p> <p>卓話</p> <p>防災の日になんで、荒井・江沢会員による関東大震災体験談</p> <p>第1回職業連絡協議会開催(浦和日刊工業会館)</p> <p>第13期クラブ協議会、70名にてスタート</p> <p>クラブ協議会</p> <p>親睦旅行会(京都)</p> <p>横田基地見学会</p> <p>I C G F(入間RC)出席</p> <p>平沼保夫会員ポール・ハリス・フェネローに</p> <p>中里進会員ポール・ハリス・フェネローに</p> <p>入間RCをスポンサークラブとしてから600回目の例会</p> <p>夫人共78名参加</p> <p>観覧会(上野給水園)、「夕食会(上野ホテル市松)</p> <p>忘年祝賀会、クリスマス会(丸広)及び優良従業員表彰</p> <p>中里進会員の起案で油絵同好会発足</p> <p>金子会員退去</p> <p>前島、加藤議員ポール・ハリス・フェネロー</p> <p>観月会(丸広)「アトラクションを各駅に贈呈</p> <p>の方針を指摘</p> <p>ガバナリー公式訪問、山口大ガバナリー「理論じやない上行動だよ」第18期クラブ協議会開催60名にてスタート</p>
7.15 9.30 10.31 12.10 1.8 2.18 6.25	7.17 7.27 9.6 9.9 11.2 11.2 12.18 1.1 1.1 2.18 2.1 武者小路実篤、藤原義江、舟橋誠一没	7.14 9.3 12.25 5.20 6.12	7.24 10.31 12.7 1.6 2.11 6.5	7.16 8.2 9.4 10.18 11.4 12.27
米・ソ宇宙船ドッキング成功	新自由クラブ結成	宮城沖地震M7.5 新東京国際空港(成田)開業	大平首相一脱消費税率導入を強調 イラン革命暫定政府旧体制派に粛清処ま イラン革命暫定政府旧体制派に粛清処ま イラン革命暫定政府旧体制派に粛清処ま イラン革命暫定政府旧体制派に粛清処ま	朝永新一郎、水谷八重子、成田知巳逝去 口裂け女、カラ、ヤミ、ウサギ小屋流行 インヘーゲーゲーム大流行 KDD振発
吉島力良 比留間清治郎・小室敏一	井上太平 細田徳二郎・清水榮次	小室敏一 吉田富雄・林幸一	細田徳二郎 曾根丈治良・竹田久治 平野寿	吉田富雄 講口卓男・森和夫 横貫文夫
人間に感懐を インプサイ、デ・メロ	ロータリーを私は信奉する ロバート・A・マンチェスター」	全人類を結びつけるために奉仕せよ J・デビス	手をさし伸べよう クレム・レスーフ	奉仕の灯で道を照らそう ジェームス・L・ポーラー Jr

